

調査結果の 概要

第 1 章

I 児童生徒に対する調査 ● 30

1 実技に関する調査結果 ● 30

2 1週間の総運動時間と体力・運動能力 ● 38

3 運動やスポーツに対する意識 ● 44

4 体育・保健体育の授業に対する意識 ● 46

5 生活習慣と体力 ● 47

6 体格と体力、運動習慣 ● 53

II 学校に対する調査 ● 55

I 児童生徒に対する調査

→ 1 実技に関する調査結果

→ 1-1 実技結果と経年変化(国・公・私立学校)【小学校】

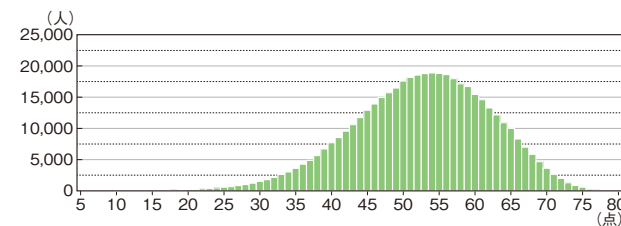
〈実技結果〉

令和6年度調査の体力合計点の平均値は男子が52.54点、女子が53.93点であった。なお、各種目の実技結果の分布及び平均値と総合評価の段階別の割合は次のとおりである。

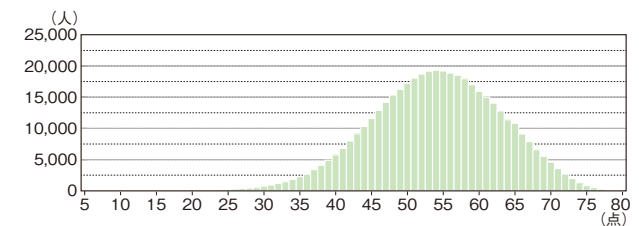
〈体力合計点〉

※得点基準は男女により異なる。

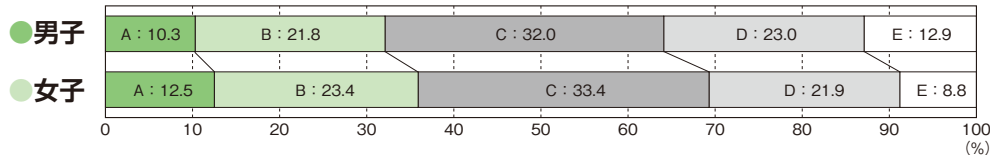
●男子	標本数	平均値	標準偏差
	460,110人	52.54点	9.63



●女子	標本数	平均値	標準偏差
	445,705人	53.93点	9.08

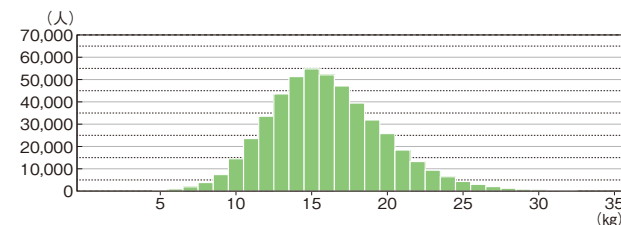


〈総合評価・段階別〉

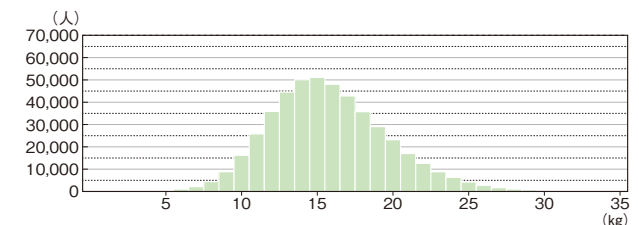


握力

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	492,078人	16.02kg	3.87

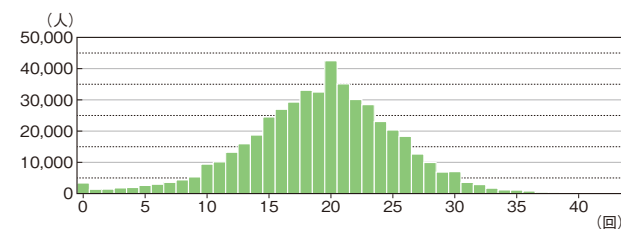


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	474,936人	15.78kg	3.89

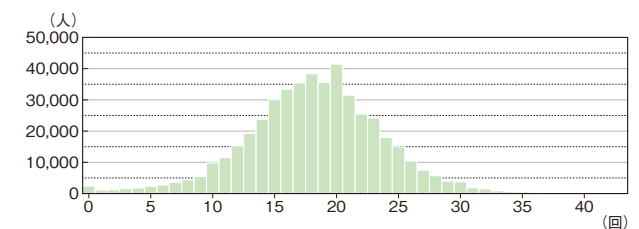


上体起こし

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	489,502人	19.19回	6.12

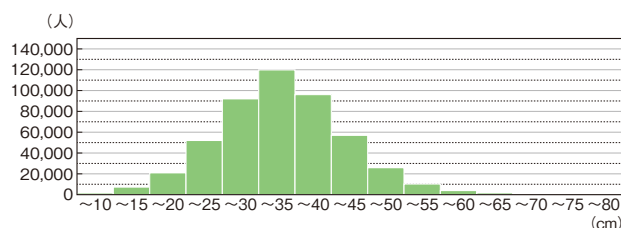


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	472,824人	18.16回	5.54

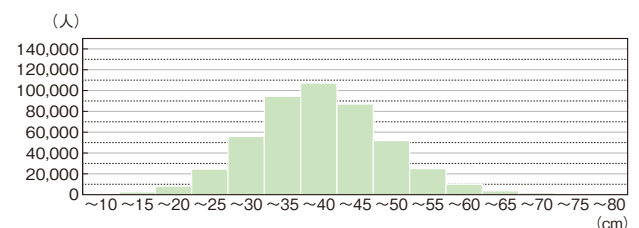


長座体前屈

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	489,789人	33.79cm	8.86

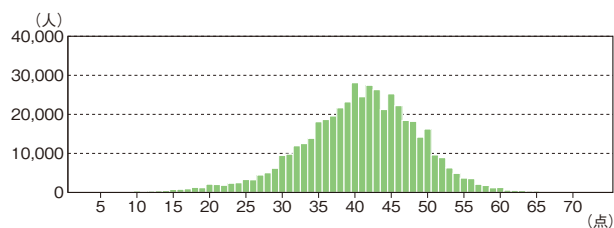


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	473,435人	38.21cm	9.17

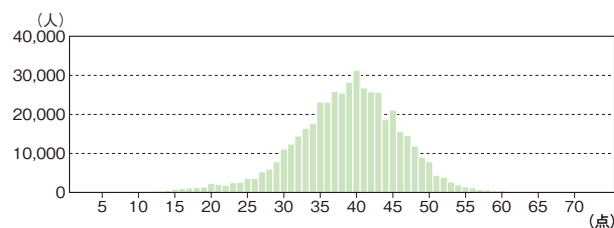


反復横とび

男子	標本数	平均値	標準偏差
	488,019人	40.67点	8.27

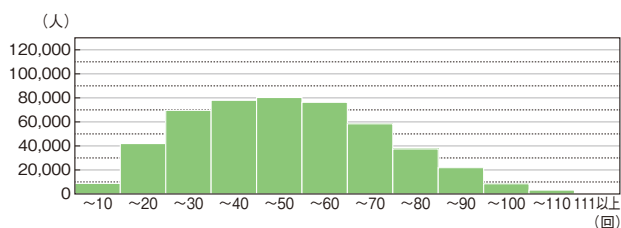


女子	標本数	平均値	標準偏差
	471,572人	38.71点	7.48

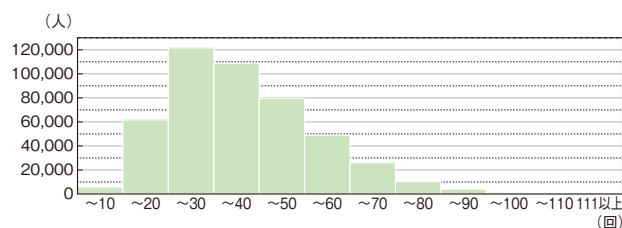


20m シャトルラン

男子	標本数	平均値	標準偏差
	484,798人	46.90回	21.08

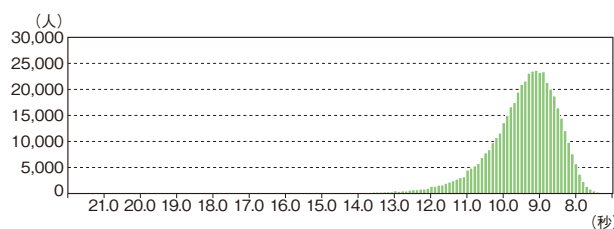


女子	標本数	平均値	標準偏差
	468,050人	36.60回	15.90

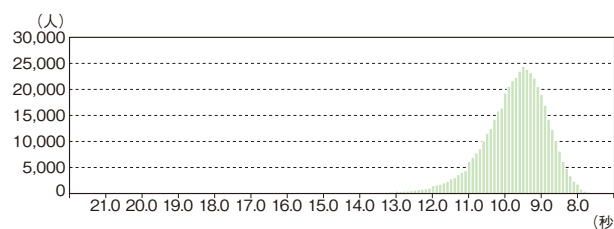


50m 走

男子	標本数	平均値	標準偏差
	487,652人	9.50秒	1.13

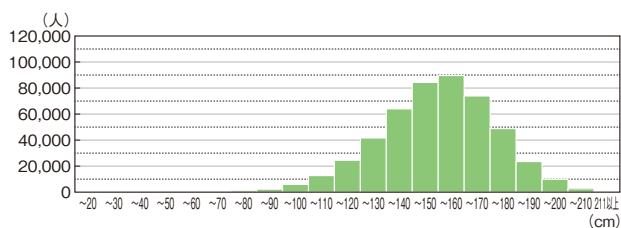


女子	標本数	平均値	標準偏差
	470,455人	9.76秒	0.97

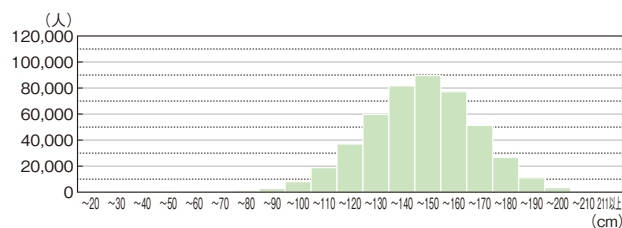


立ち幅とび

男子	標本数	平均値	標準偏差
	488,424人	150.46cm	23.51

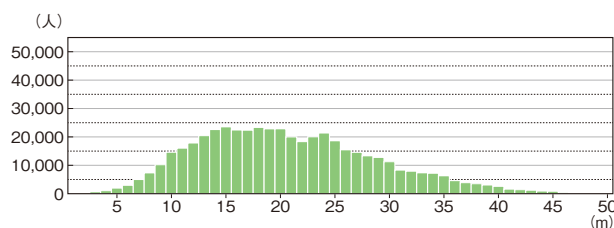


女子	標本数	平均値	標準偏差
	471,343人	143.18cm	22.09

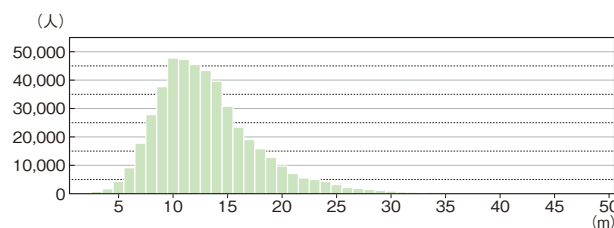


ソフトボール投げ

男子	標本数	平均値	標準偏差
	487,515人	20.74m	8.24



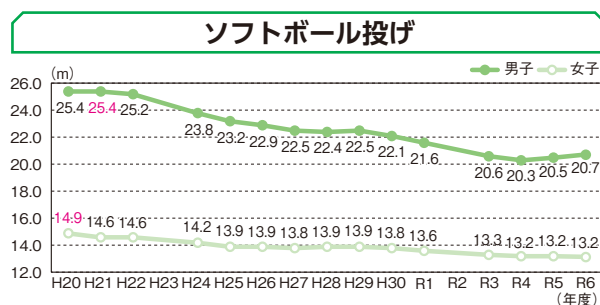
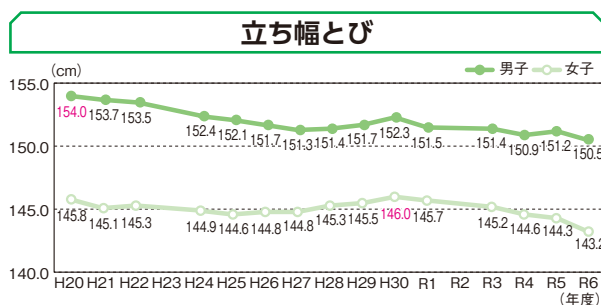
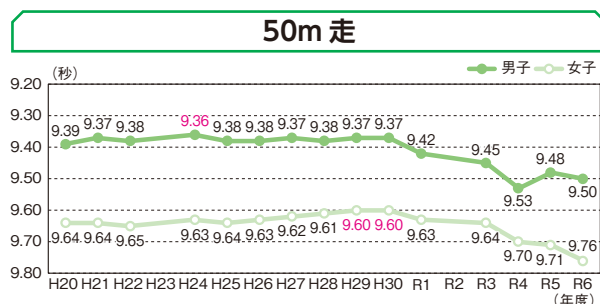
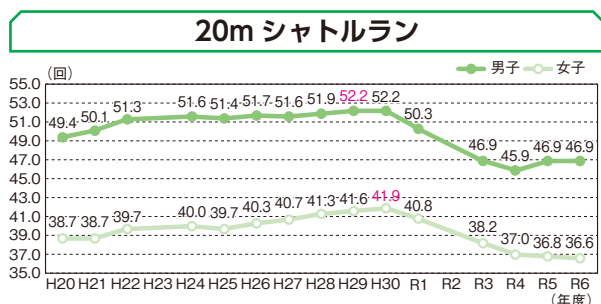
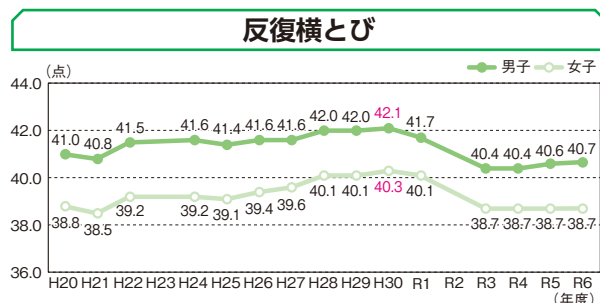
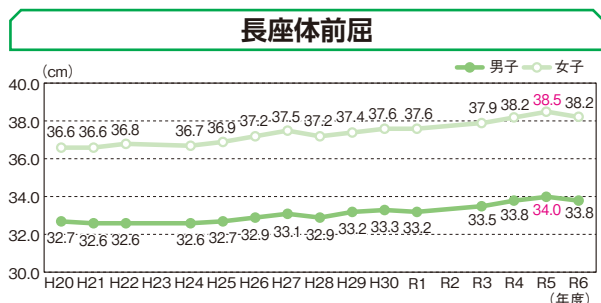
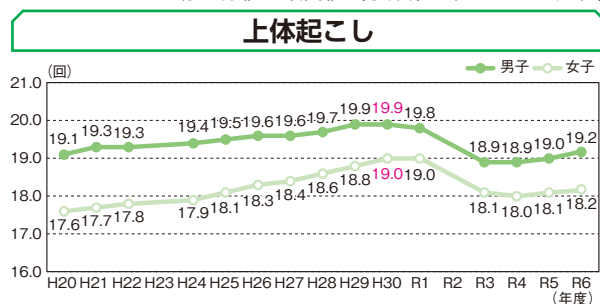
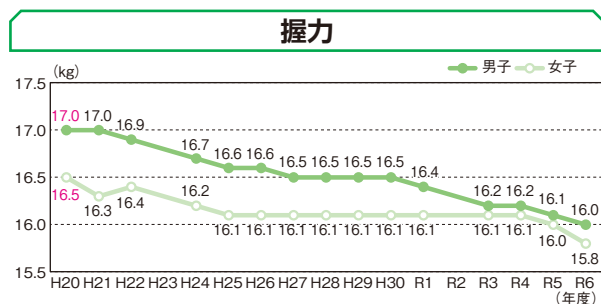
女子	標本数	平均値	標準偏差
	470,077人	13.15m	4.76



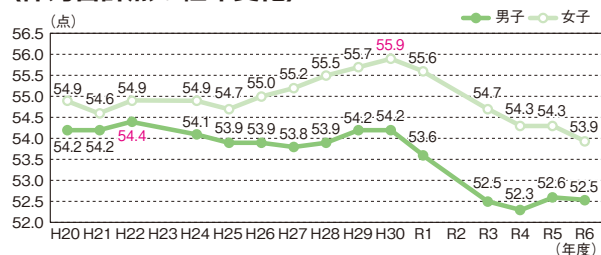
〈各種目の経年変化〉

種目別に見ると、令和5年度に比べ、男女ともに「上体起こし」は向上したが、「握力」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅とび」は低下した。「反復横とび」「ソフトボール投げ」は、男子は向上し、女子は横ばいだった。「シャトルラン」は男子は横ばい、女子は低下した。また、体力合計点については、男子は0.1点、女子は0.4点減少した。

※赤い数値は最高値（小数第2位までの比較）



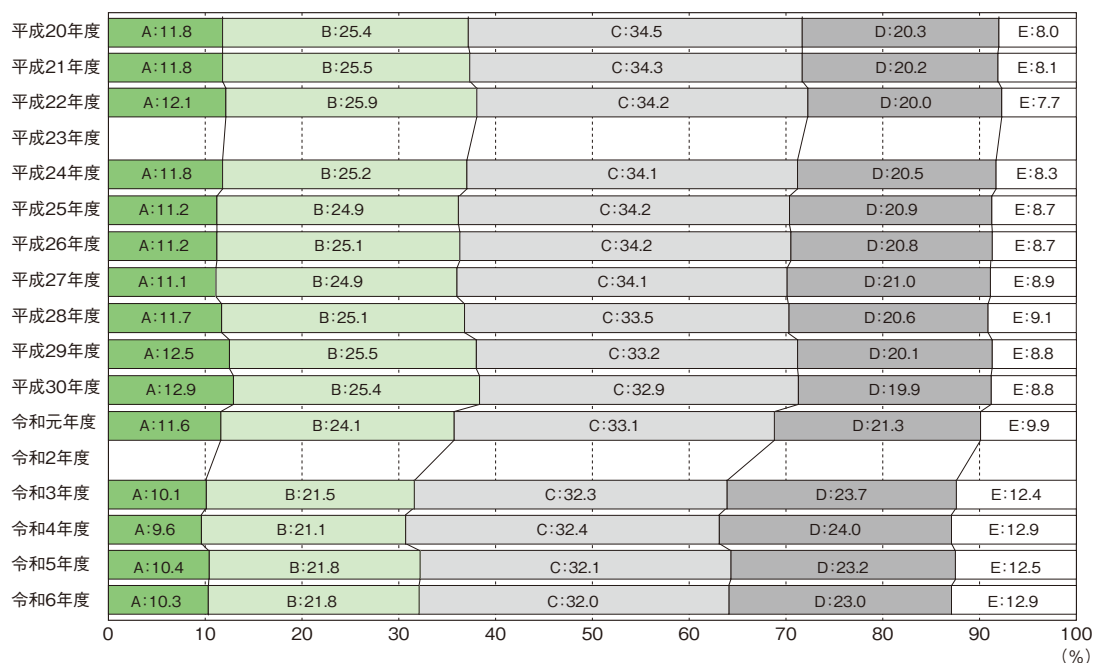
〈体力合計点の経年変化〉



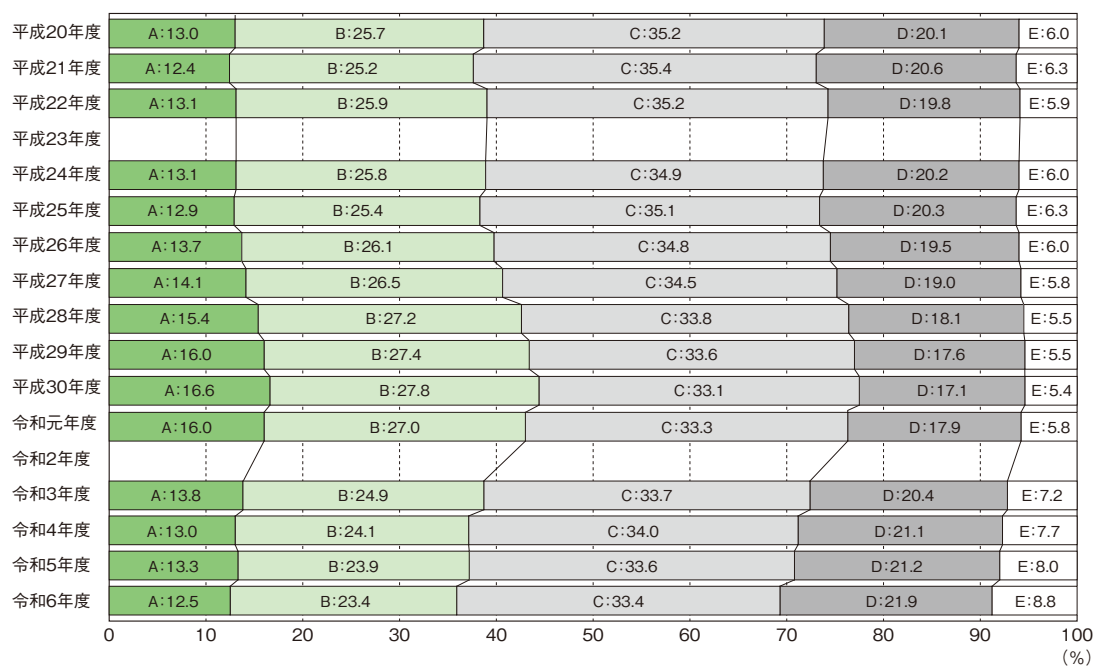
〈総合評価（段階別）の経年変化〉

総合評価 A+B+C（割合）は、令和5年度に比べ、男子は0.2ポイント、女子は1.5ポイント減少した。

●男子



●女子



→ 1-2 実技結果と経年変化(国・公・私立学校)【中学校】

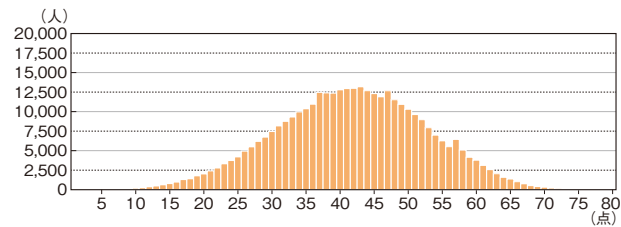
〈実技結果〉

令和6年度調査の体力合計点の平均値は男子が41.69点、女子が47.22点であった。なお、各種目の実技結果の分布及び平均値と総合評価の段階別の割合は次のとおりである。

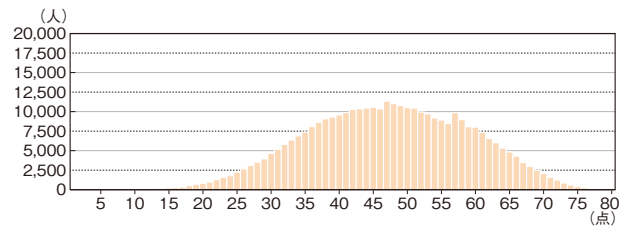
〈体力合計点〉

※得点基準は男女により異なる。

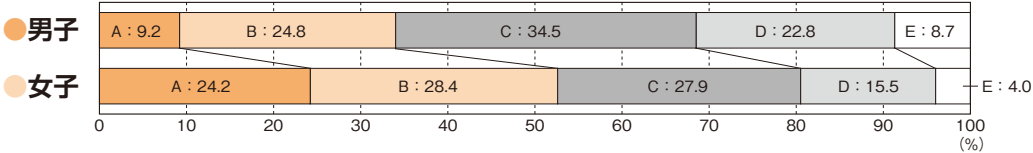
●男子	標本数	平均値	標準偏差
	365,901人	41.69点	10.91



●女子	標本数	平均値	標準偏差
	353,259人	47.22点	11.81

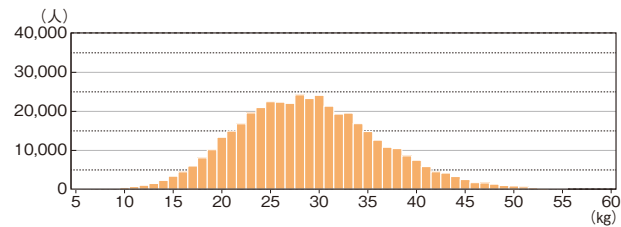


〈総合評価・段階別〉

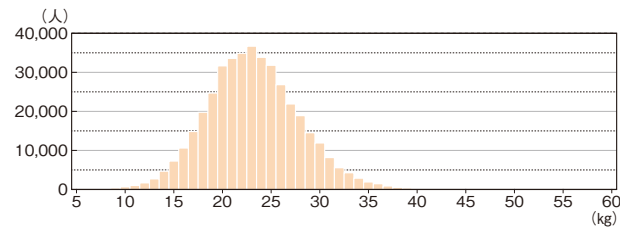


握力

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	430,508人	28.91kg	7.33

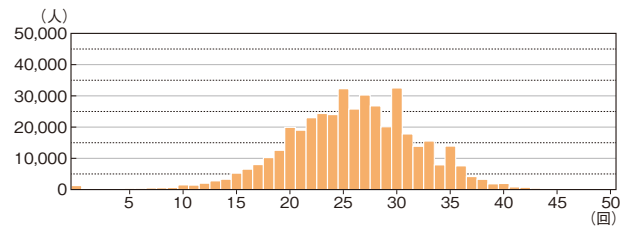


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	411,267人	23.14kg	4.72

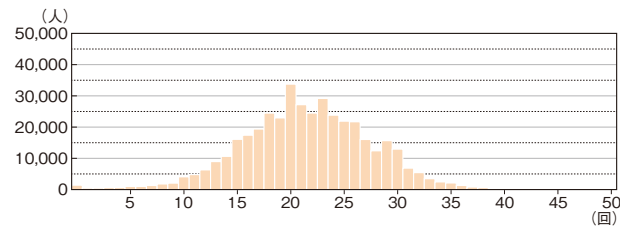


上体起こし

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	427,082人	25.82回	6.29

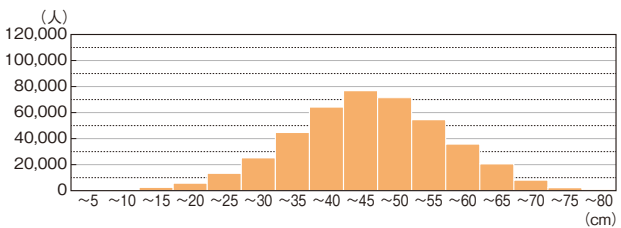


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	408,773人	21.47回	6.07

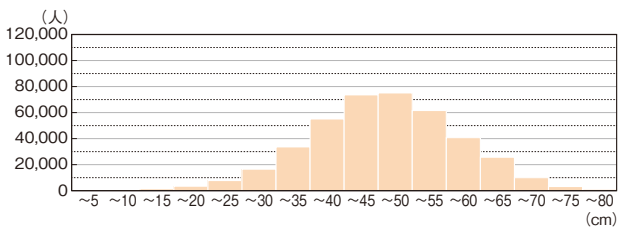


長座体前屈

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	427,159人	44.32cm	11.33

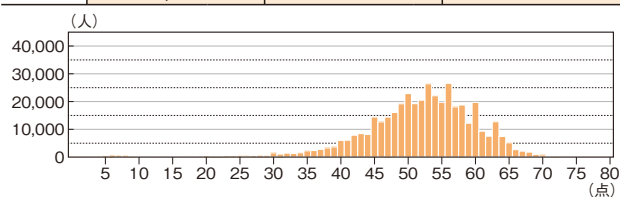


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	409,507人	46.44cm	10.90

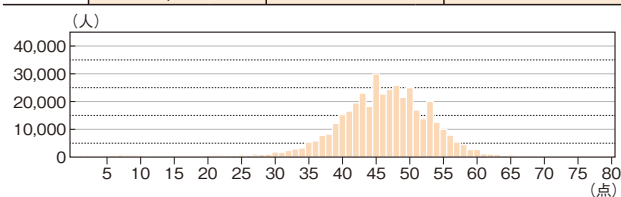


反復横とび

男子	標本数	平均値	標準偏差
	423,094人	51.49点	9.18

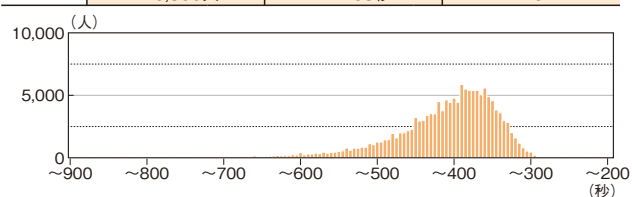


女子	標本数	平均値	標準偏差
	405,944人	45.67点	7.87

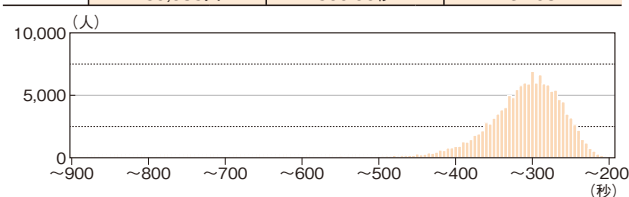


持久走 (男子 1500 m、女子 1000 m)

男子	標本数	平均値	標準偏差
	146,800人	411.68秒	72.92

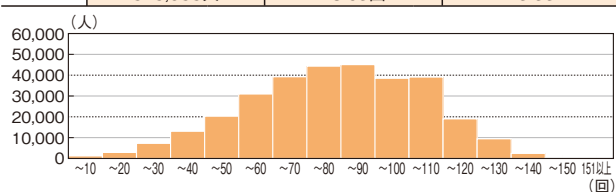


女子	標本数	平均値	標準偏差
	139,083人	309.90秒	51.98

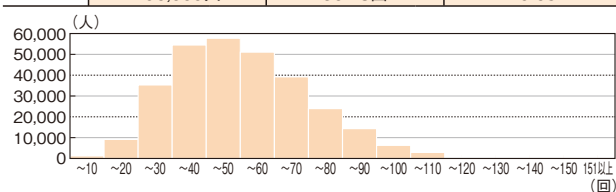


20m シャトルラン

男子	標本数	平均値	標準偏差
	313,033人	78.65回	25.55

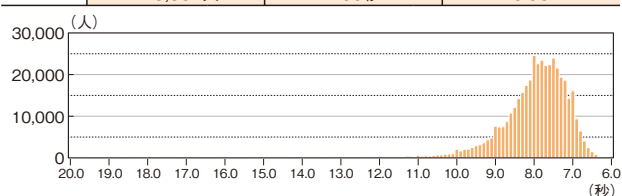


女子	標本数	平均値	標準偏差
	296,009人	50.48回	19.63

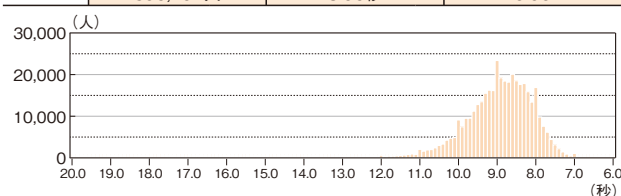


50m 走

男子	標本数	平均値	標準偏差
	415,534人	7.99秒	0.93

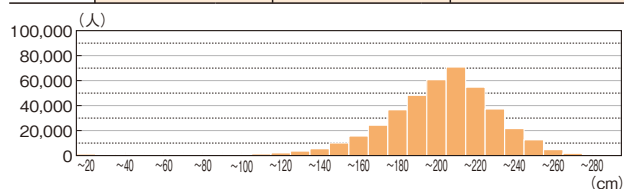


女子	標本数	平均値	標準偏差
	396,194人	8.96秒	0.90

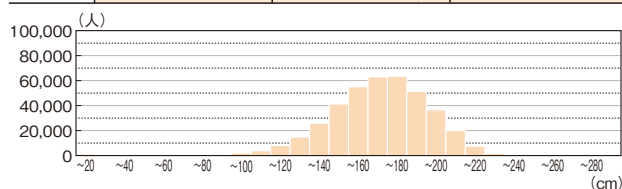


立ち幅とび

男子	標本数	平均値	標準偏差
	418,165人	197.16cm	32.09

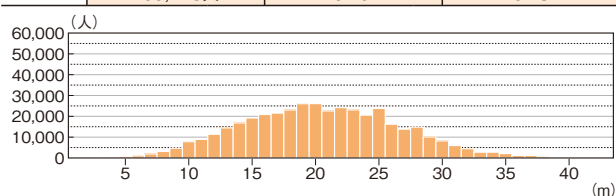


女子	標本数	平均値	標準偏差
	401,235人	166.22cm	28.08

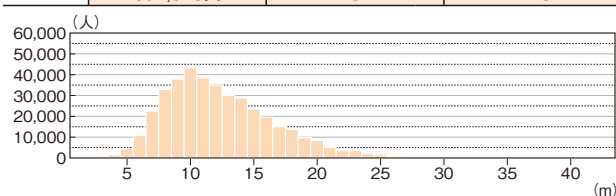


ハンドボール投げ

男子	標本数	平均値	標準偏差
	409,113人	20.49m	6.28



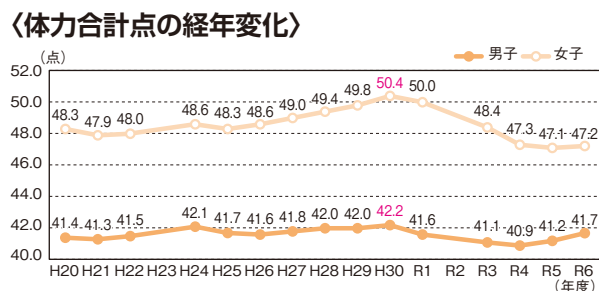
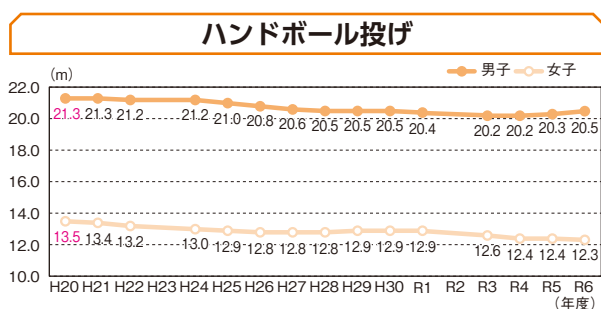
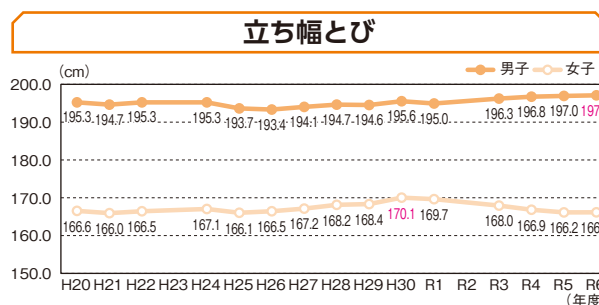
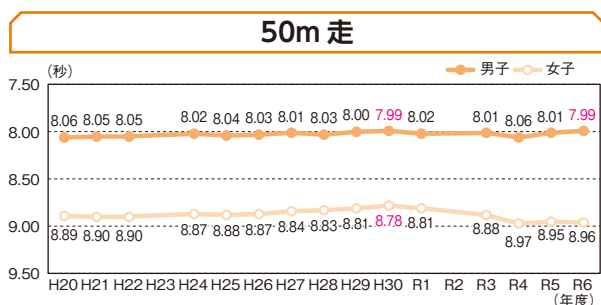
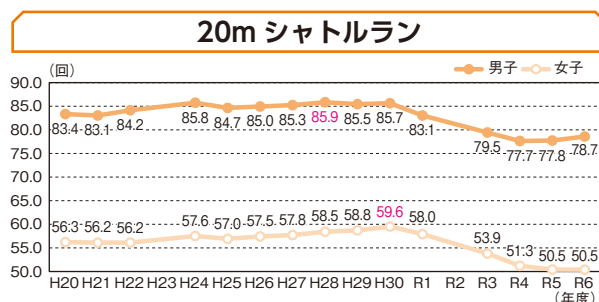
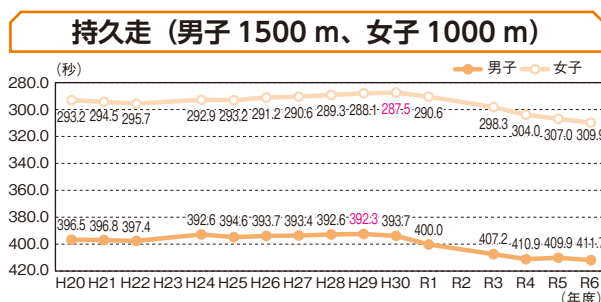
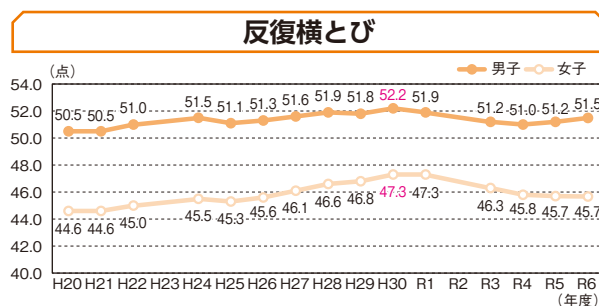
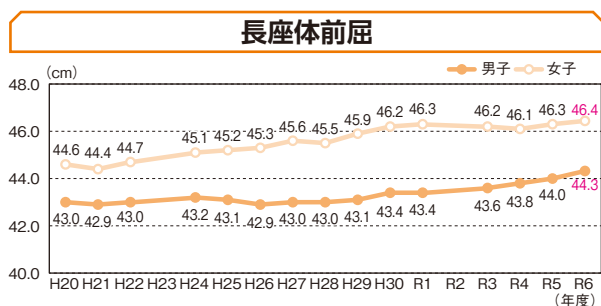
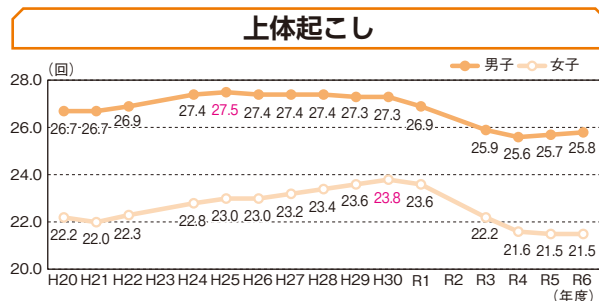
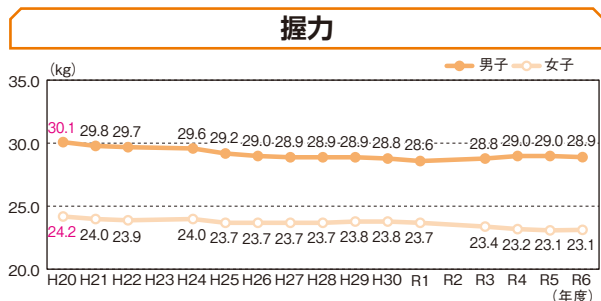
女子	標本数	平均値	標準偏差
	394,828人	12.32m	4.28



〈各種目の経年変化〉

種目別に見ると、令和5年度に比べ、男女ともに「長座体前屈」は向上、「持久走」は低下した。「上体起こし」「反復横とび」「20m シャトルラン」「50m 走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」については男子は向上、女子は横ばいもしくはやや低下した。「握力」は、男子は低下し女子は横ばいだった。また、体力合計点については、男子は0.5点、女子は0.1点の増加となった。

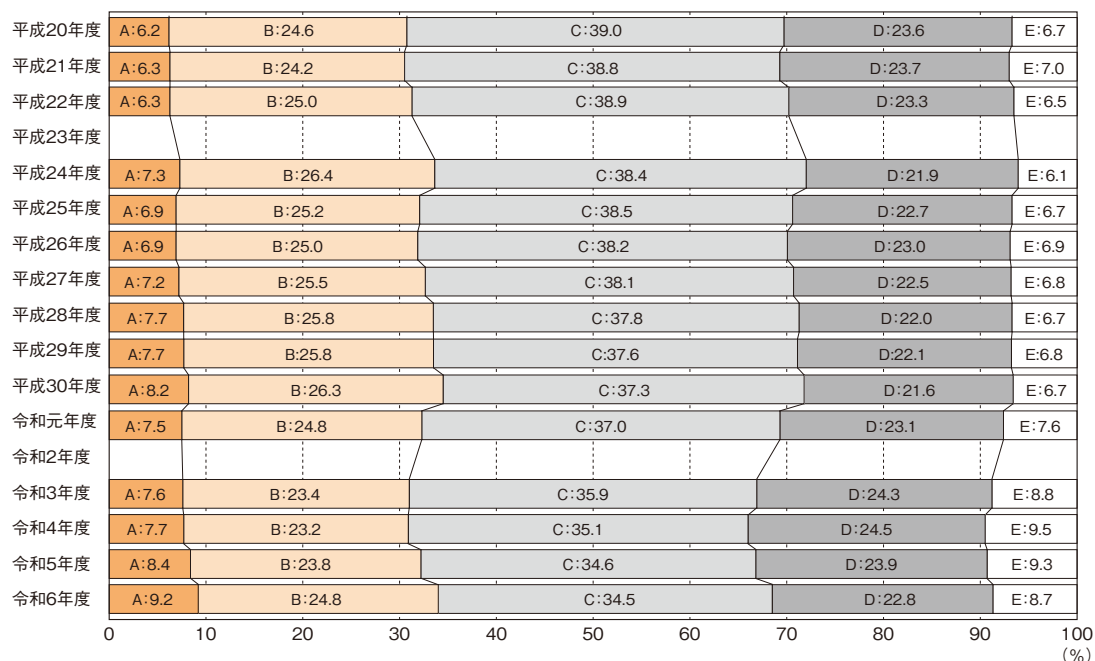
※赤い数値は最高値（小数第2位までの比較）



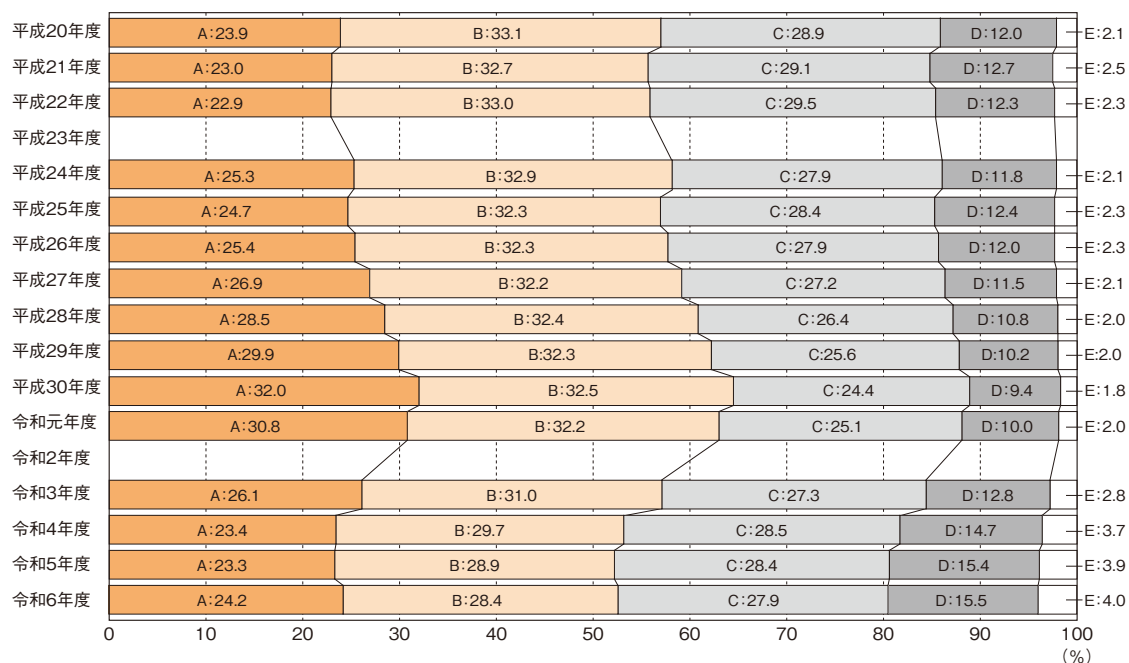
〈総合評価（段階別）の経年変化〉

総合評価 A+B+C（割合）は、令和5年度に比べ、男子は1.7ポイント増加した。女子は0.1ポイント減少した。

●男子



●女子



※ 1 週間の総運動時間の算出方法については、P.6 を参照のこと。

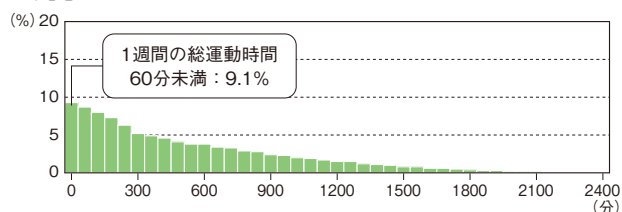
→ 2 1 週間の総運動時間と体力・運動能力

→ 2-1 1 週間の総運動時間の分布・内訳・体力合計点との関連【小学校】

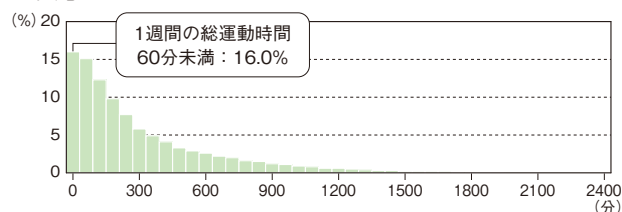
体育の授業を除く1週間の総運動時間は、60分未満の割合は男子9.1%、女子16.0%であった。また、1週間で420分以上運動している児童の割合は令和5年度に比べ、男子は0.4ポイント、女子は1.1ポイント増加した。

〈1〉 1 週間の総運動時間の分布

● 男子

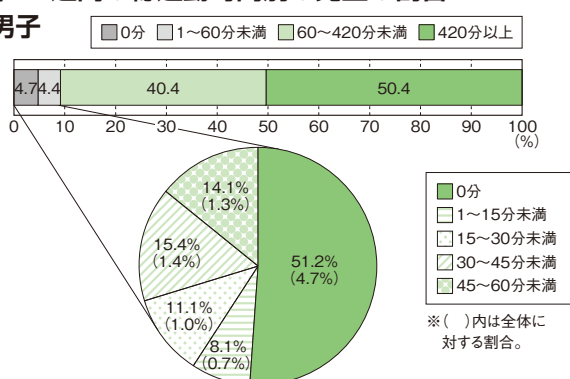


● 女子

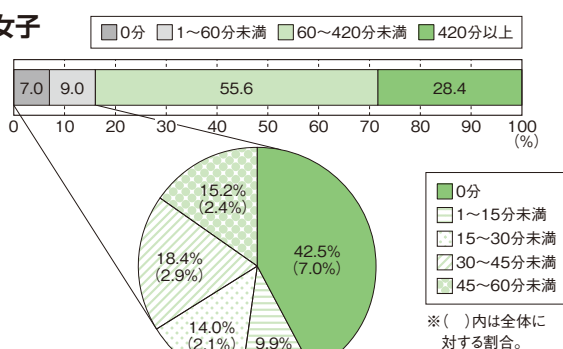


〈2〉 1 週間の総運動時間別の児童の割合

● 男子

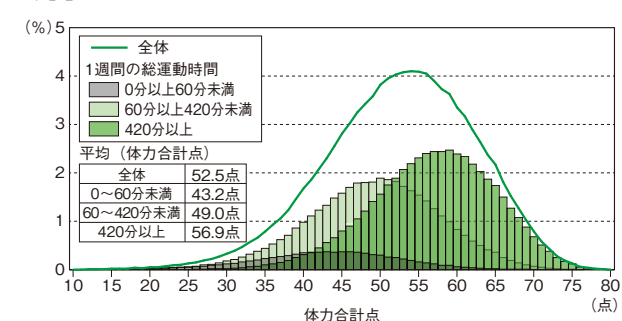


● 女子

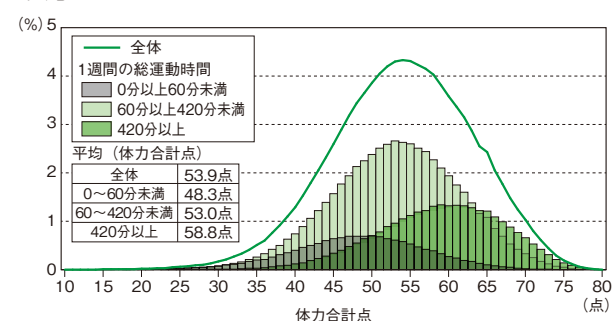


〈3〉 1 週間の総運動時間と体力合計点との関連

● 男子

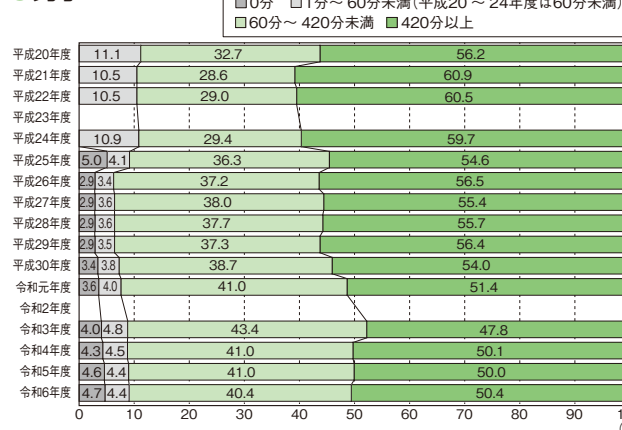


● 女子

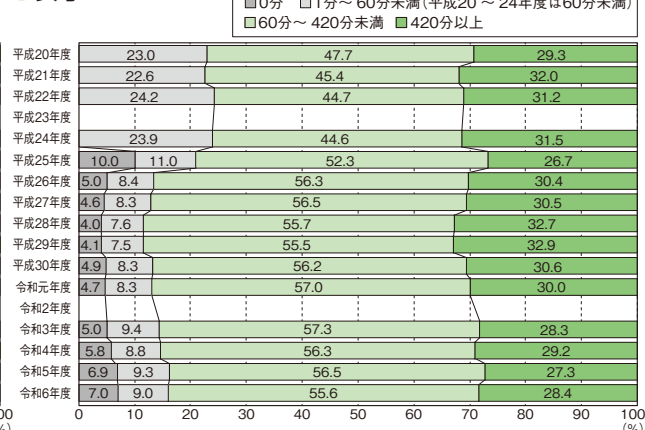


〈4〉 1 週間の総運動時間の経年変化

● 男子



● 女子

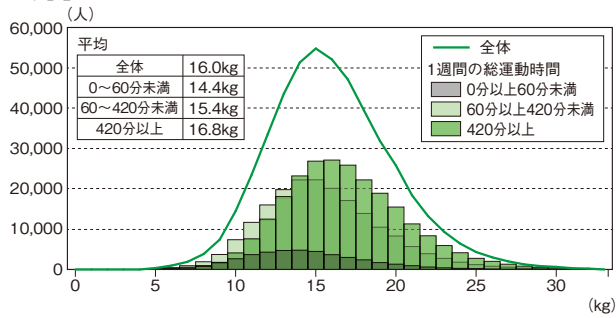


※平成 20 ～ 24 年度は、旧算出基準 (P.6 参照) による。
平成 25 年度以降は、各曜日の運動時間の合計。

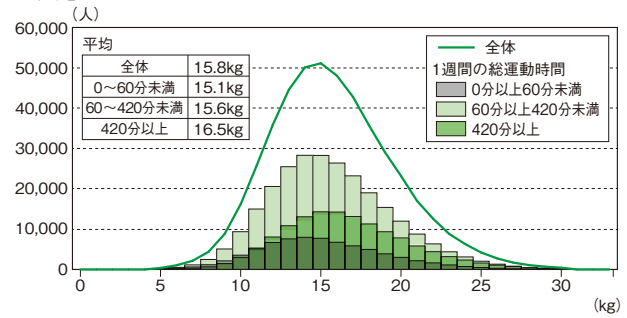
〈5〉 1週間の総運動時間と各種目の関連

握力

●男子

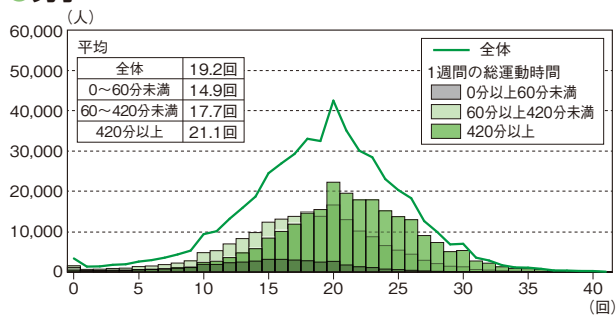


●女子

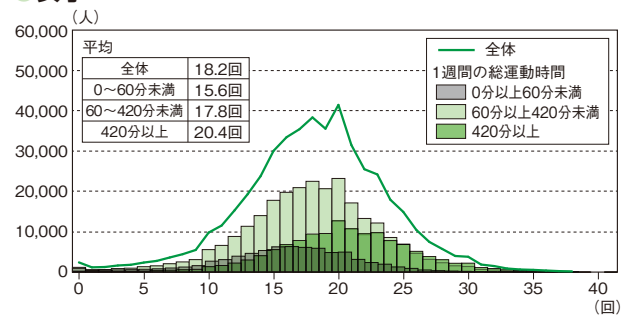


上体起こし

●男子

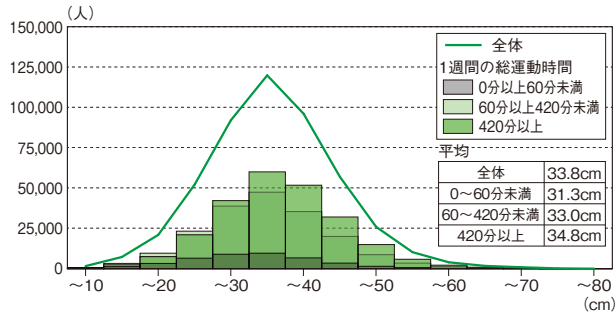


●女子

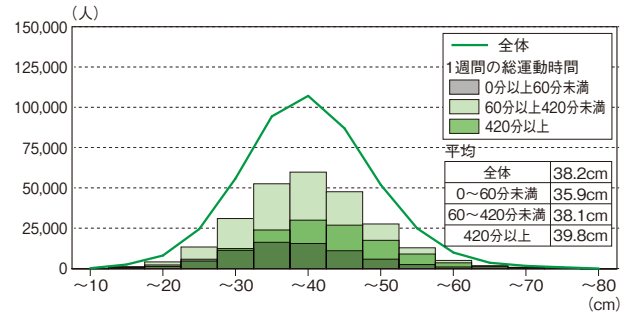


長座体前屈

●男子

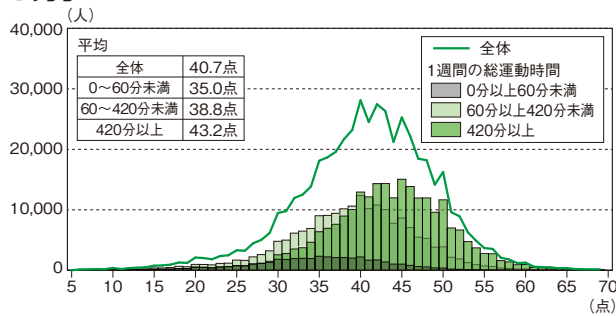


●女子

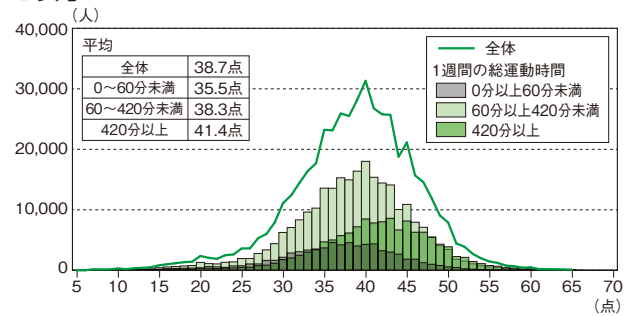


反復横とび

●男子

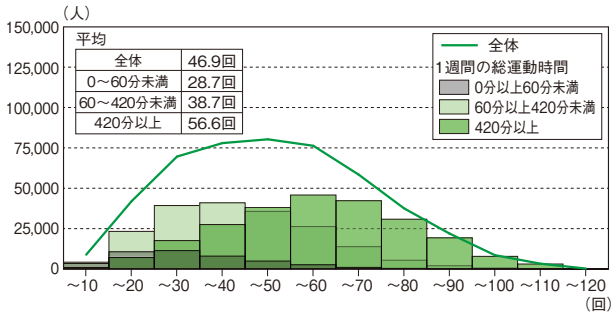


●女子

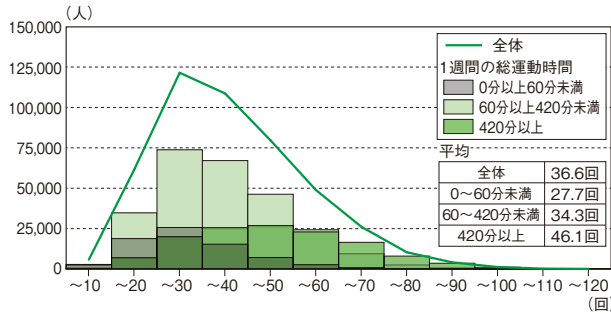


20m シャトルラン

男子

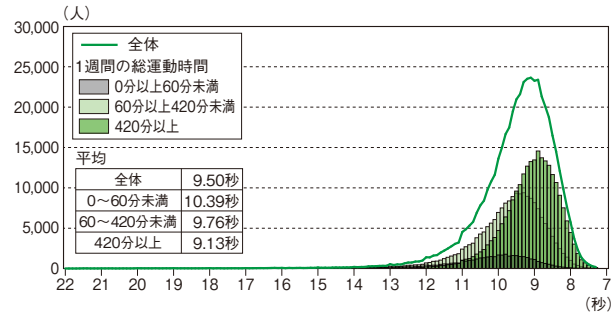


女子

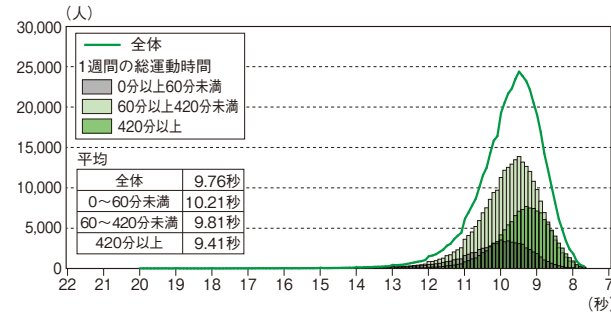


50m 走

男子

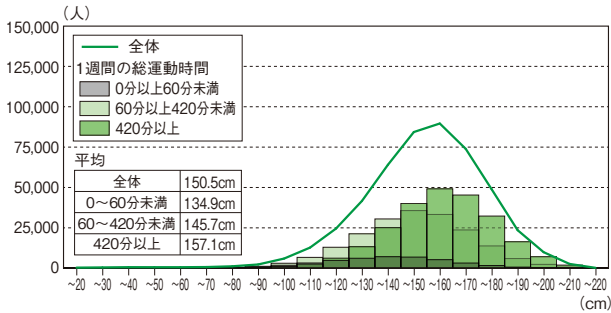


女子

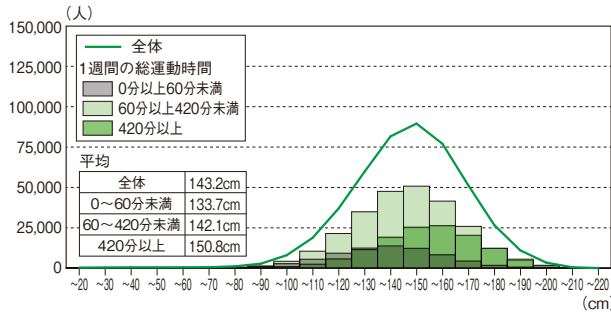


立ち幅とび

男子

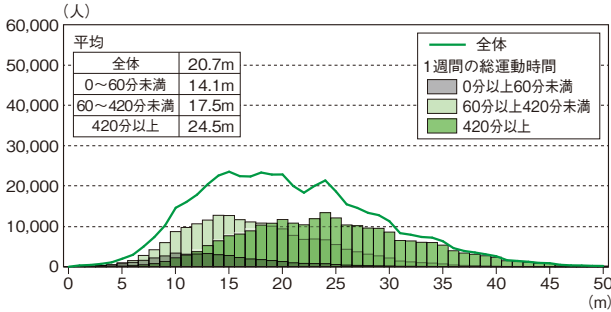


女子

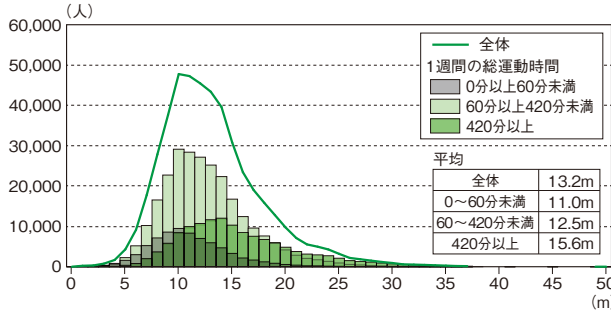


ソフトボール投げ

男子



女子



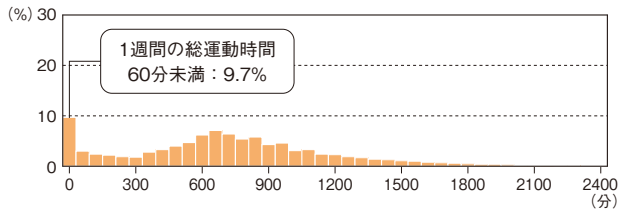
※ 1 週間の総運動時間の算出方法については、P.6 を参照のこと。

→ 2-2 1週間の総運動時間の分布・内訳・体力合計点との関連【中学校】

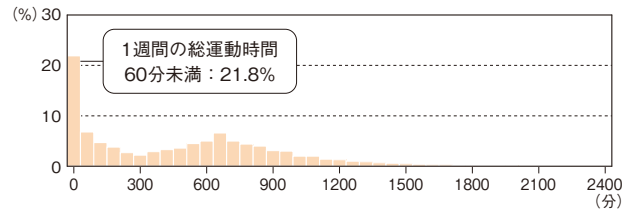
保健体育の授業を除く1週間の総運動時間は、60分未満の割合は男子9.7%、女子21.8%であった。また、1週間で420分以上運動している生徒の割合は令和5年度に比べ、男子は横ばい、女子は0.9ポイント減少した。

〈1〉 1週間の総運動時間の分布

● 男子

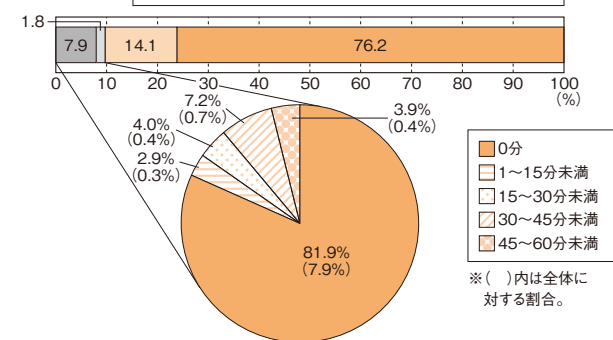


● 女子

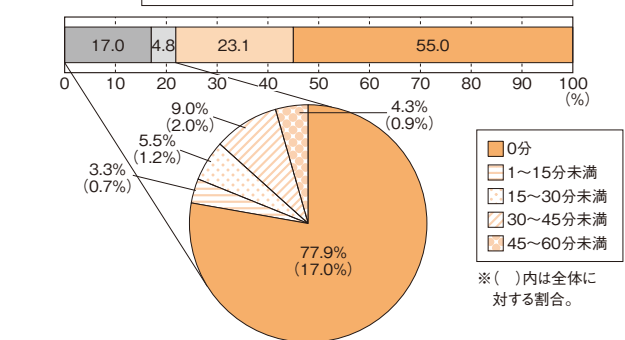


〈2〉 1週間の総運動時間別の生徒の割合

● 男子

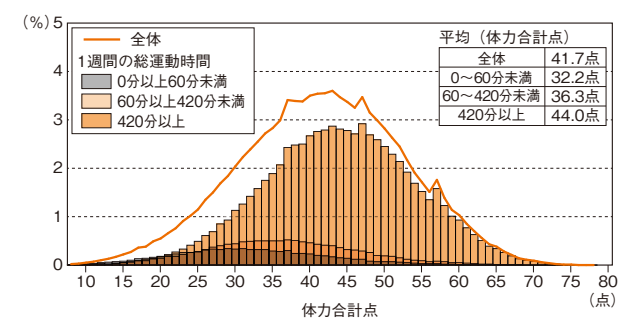


● 女子

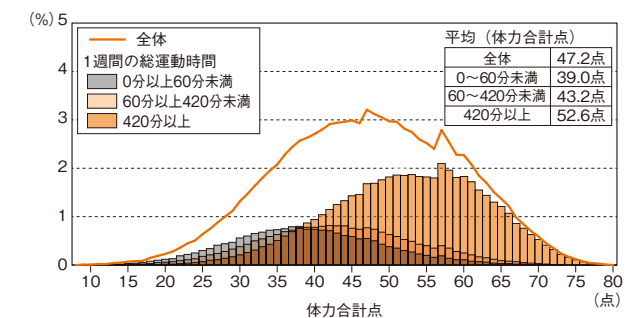


〈3〉 1週間の総運動時間と体力合計点との関連

● 男子

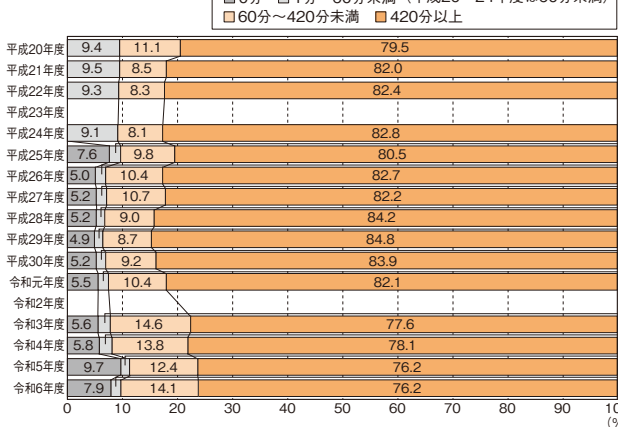


● 女子

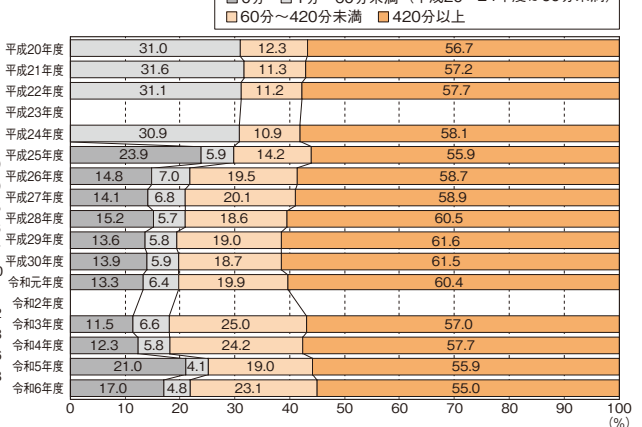


〈4〉 1週間の総運動時間の経年変化

● 男子



● 女子

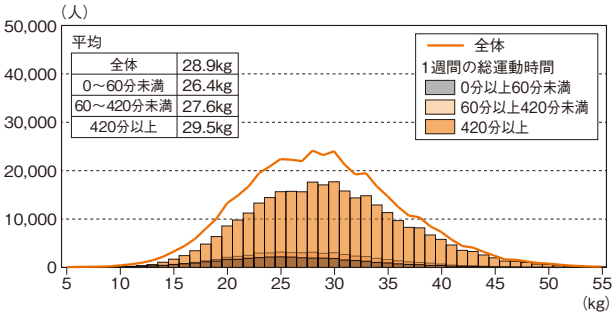


※平成 20～24 年度は、旧算出基準 (P.6 参照) による。
平成 25 年度以降は、各曜日の運動時間の合計。

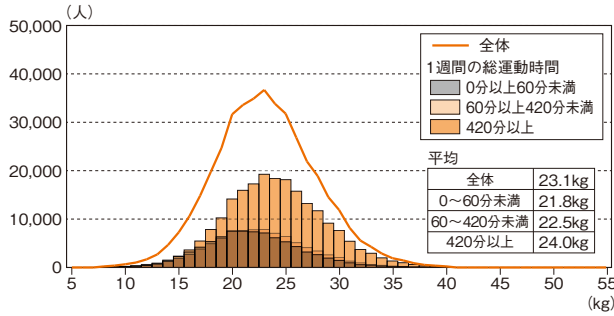
〈5〉 1 週間の総運動時間と各種目の関連

握力

男子

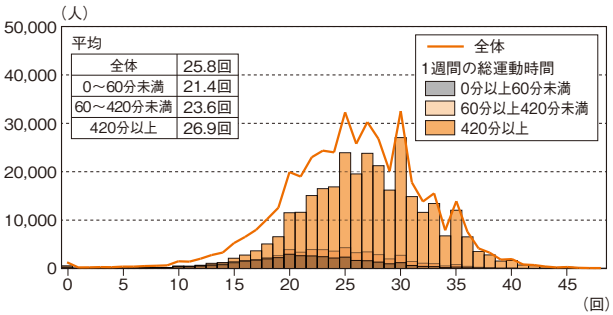


女子

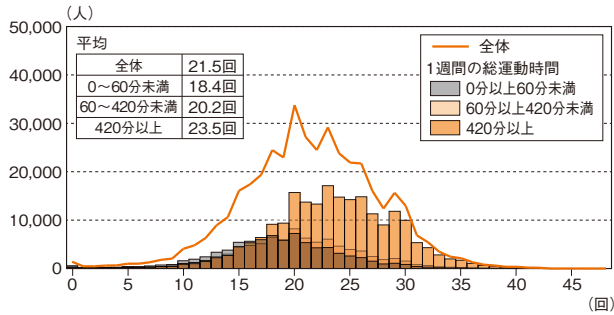


上体起こし

男子

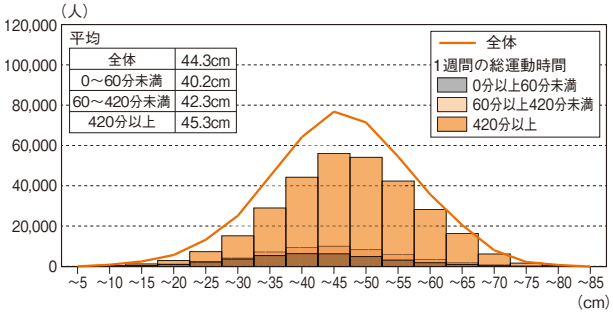


女子

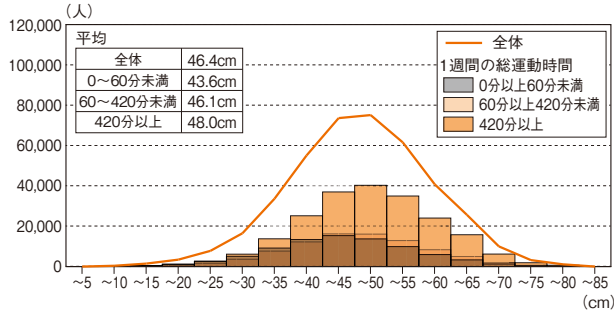


長座体前屈

男子

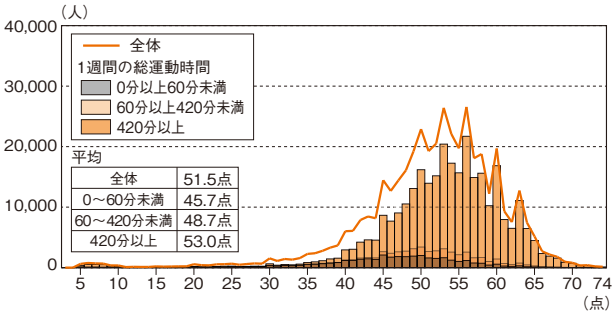


女子

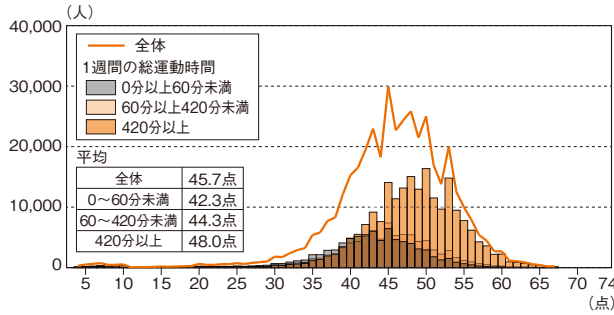


反復横とび

男子

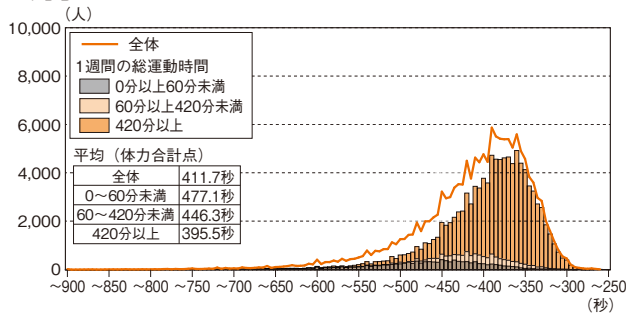


女子

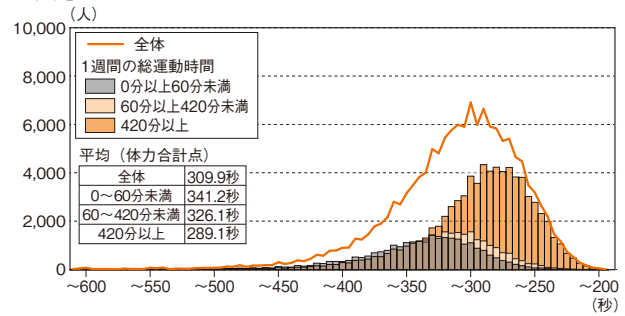


持久走 (男子 1500 m、女子 1000 m)

●男子

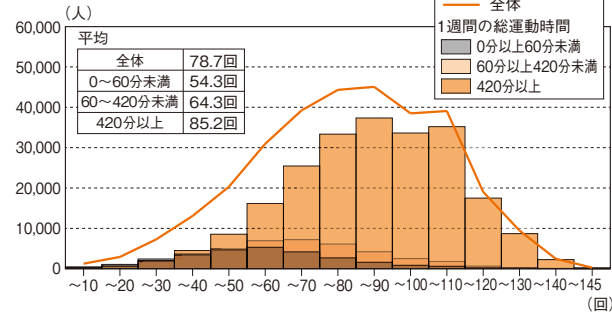


●女子

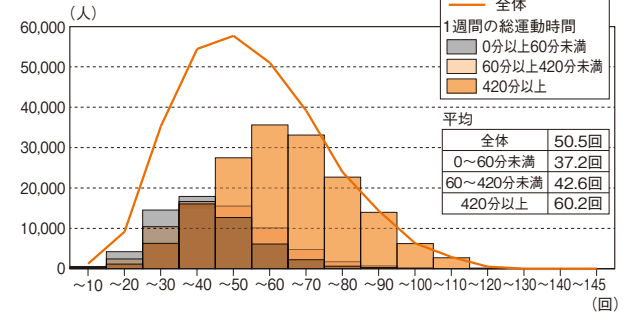


20m シャトルラン

●男子

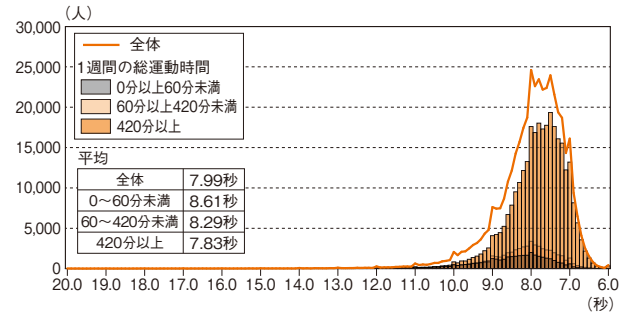


●女子

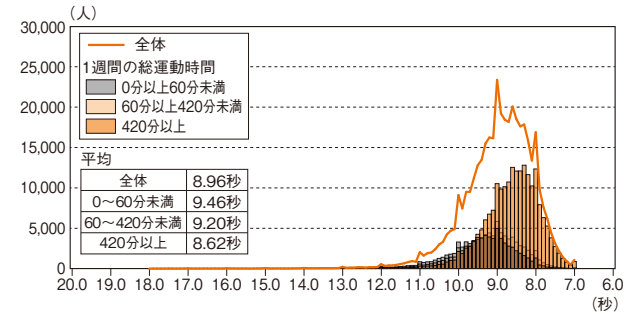


50m 走

●男子

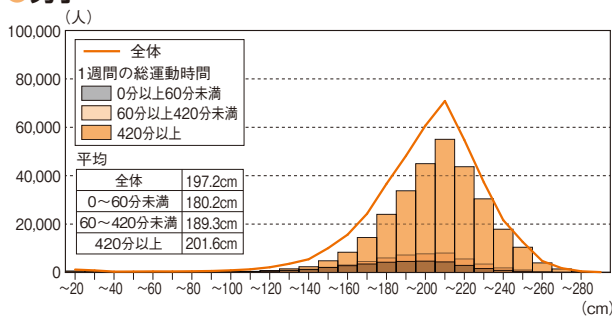


●女子

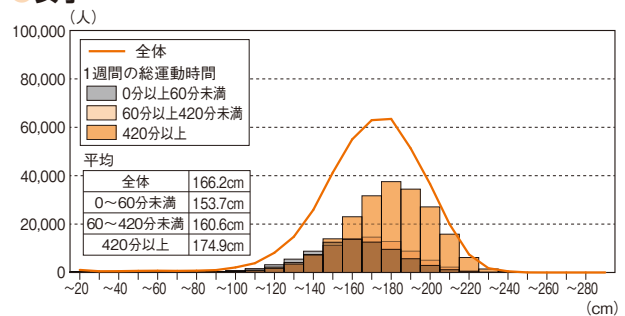


立ち幅とび

●男子

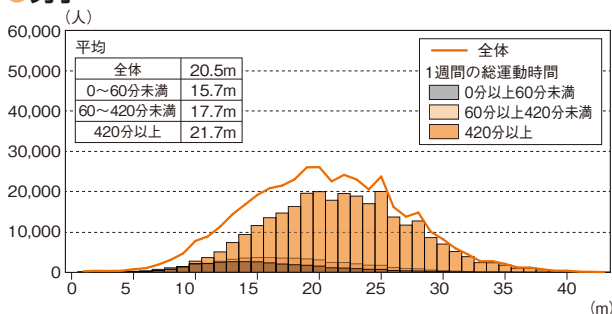


●女子

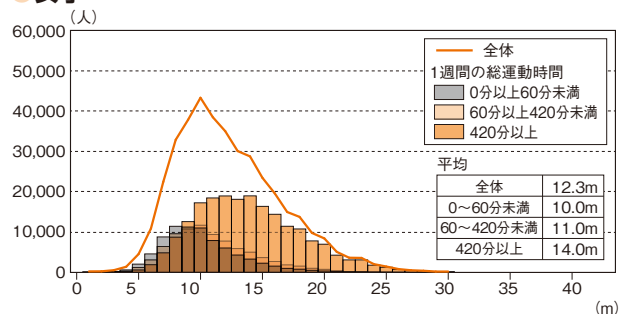


ハンドボール投げ

●男子



●女子



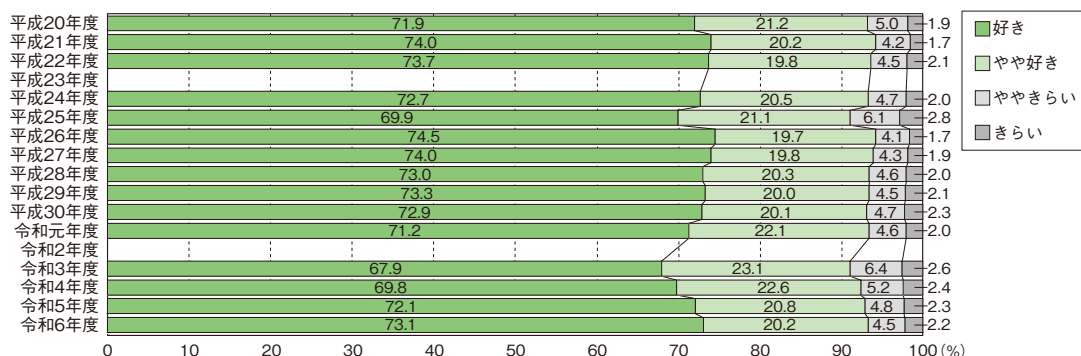
→ 3 運動やスポーツに対する意識

→ 3-1 運動やスポーツの好き・嫌い【小学校】

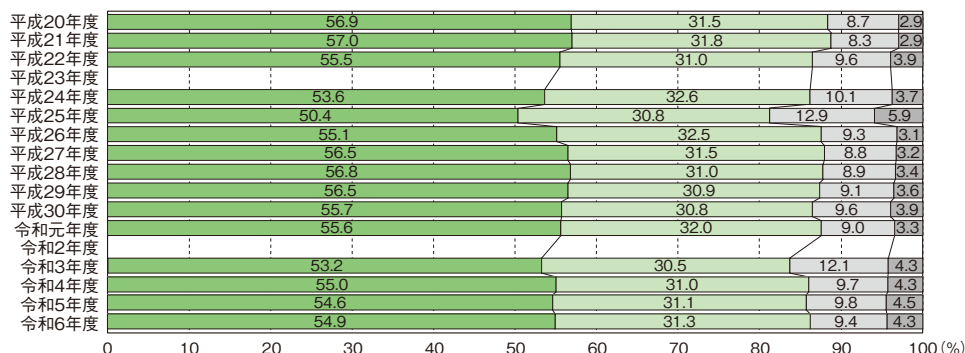
運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と回答した児童の割合は、令和5年度に比べ、男子は0.4ポイント、女子は0.5ポイント増加した。

「好き・嫌い」の経年変化

● 男子



● 女子

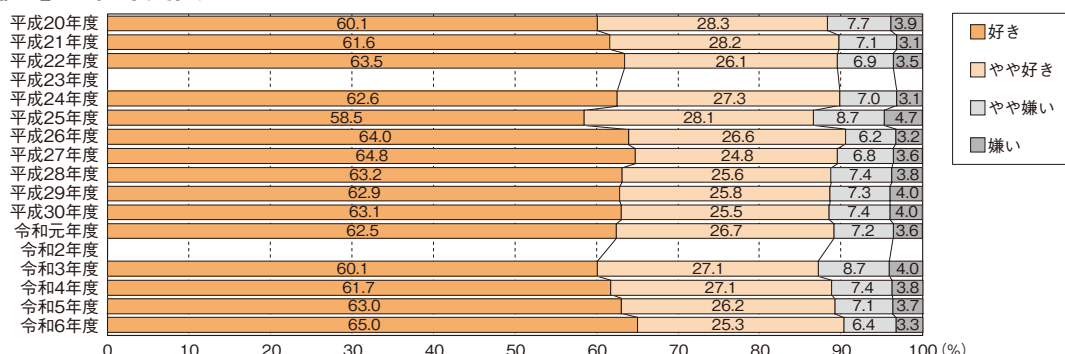


→ 3-2 運動やスポーツの好き・嫌い【中学校】

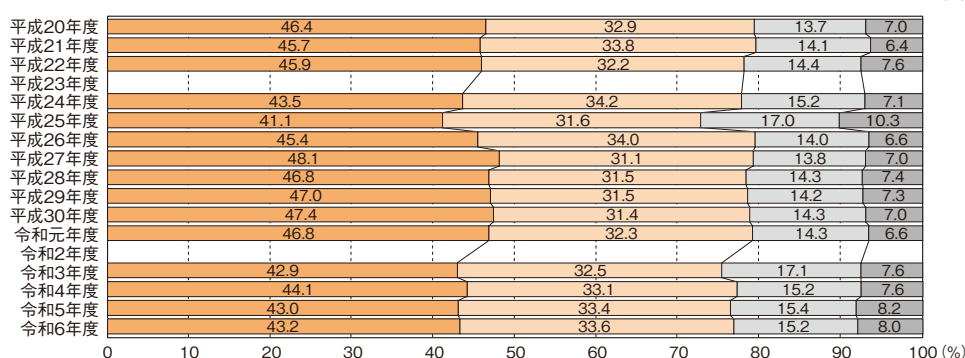
運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と回答した生徒の割合は、令和5年度に比べ、男子は1.1ポイント、女子は0.4ポイント増加した。

「好き・嫌い」の経年変化

● 男子



● 女子

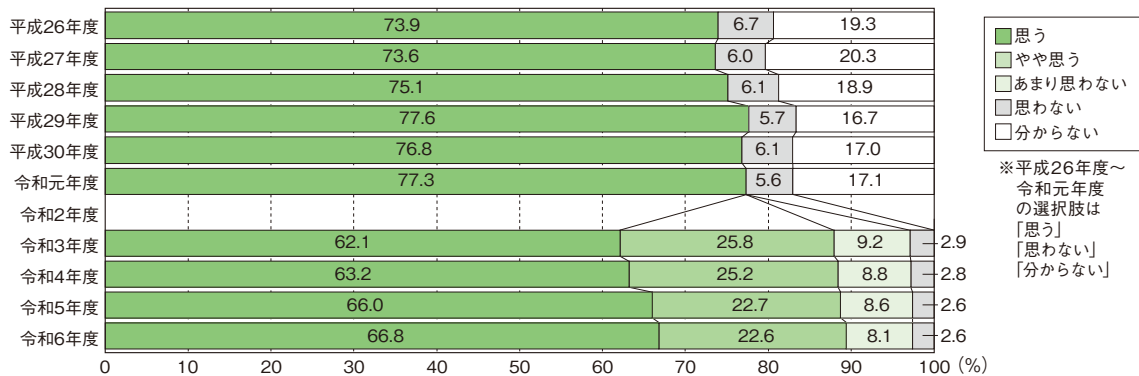


→ 3-3 卒業後の運動への意欲【小学校】

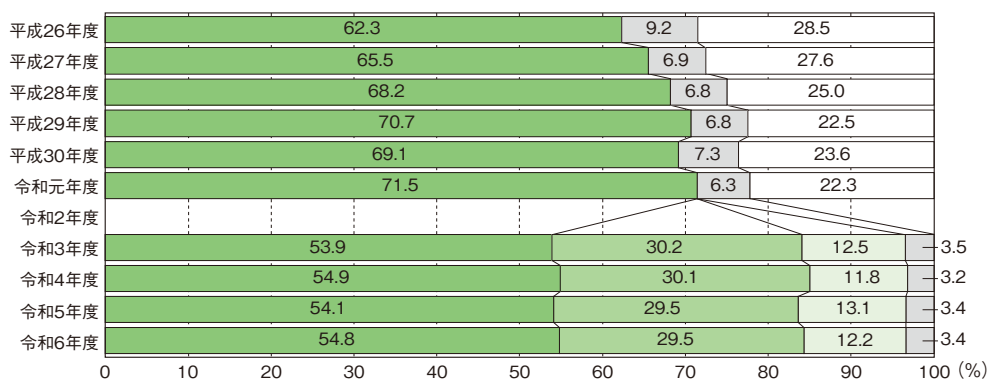
卒業しても運動する時間を持ちたいと「思う」「やや思う」と回答した児童の割合は、男女とも令和5年度に比べ、0.7ポイント増加した。

【「卒業しても運動する時間を持ちたいと思う」の経年変化】

●男子



●女子

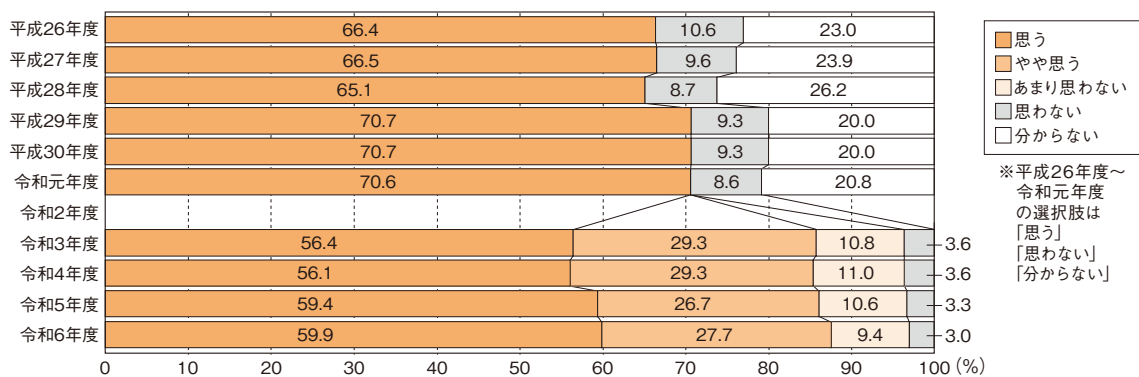


→ 3-4 卒業後の運動への意欲【中学校】

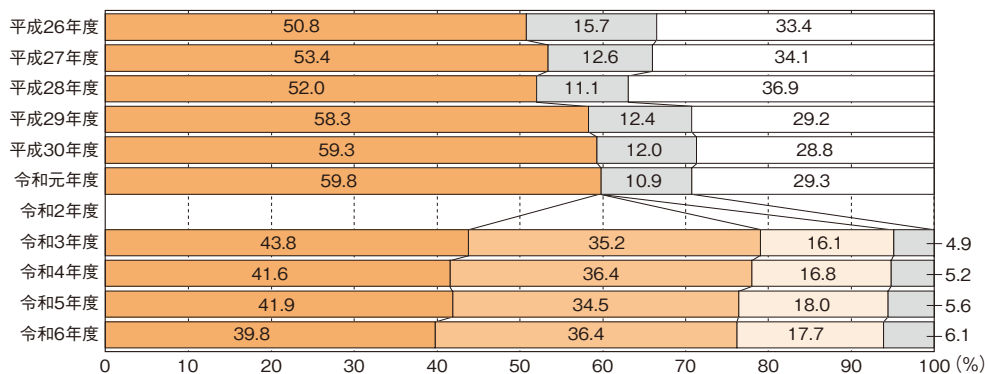
卒業しても運動する時間を持ちたいと「思う」「やや思う」と回答した生徒の割合は、令和5年度に比べ、男子は1.5ポイント増加したが、女子は0.2ポイント減少した。

【「卒業しても運動する時間を持ちたいと思う」の経年変化】

●男子



●女子



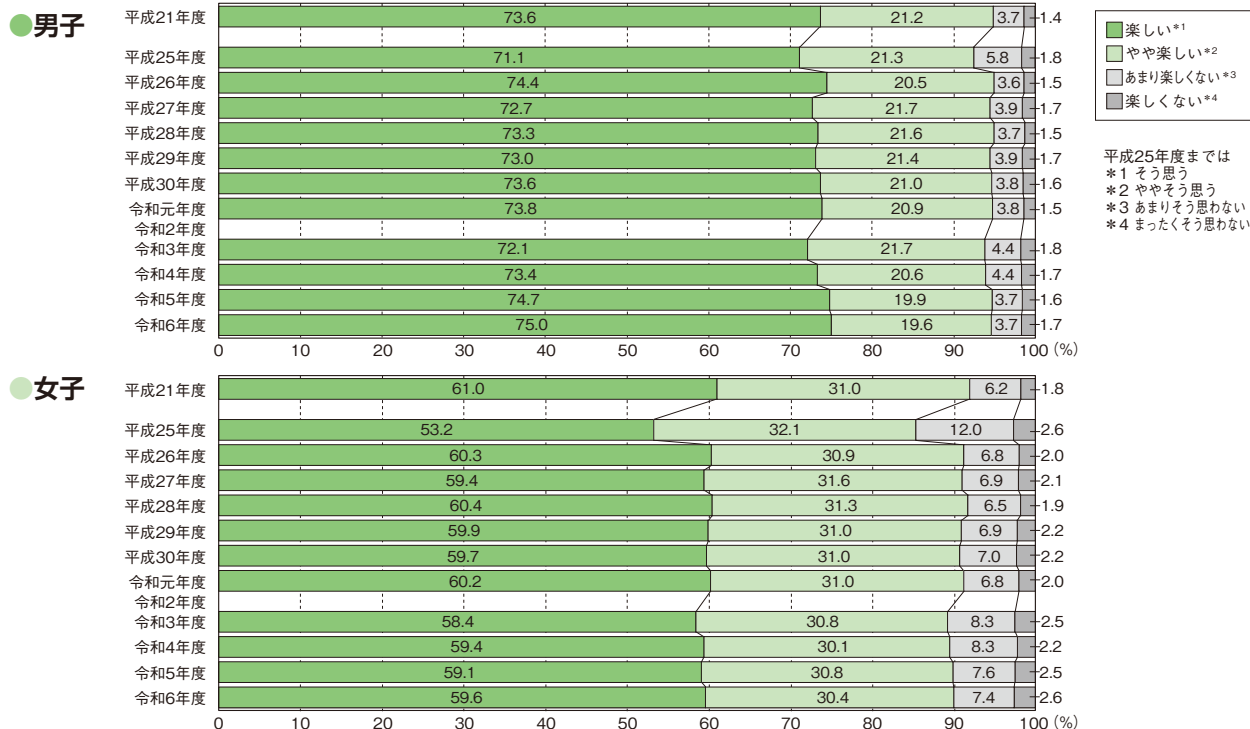
→ 4 体育・保健体育の授業に対する意識

→ 4-1 体育の授業は楽しい【小学校】

体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童の割合は、男子は令和5年度に比べ、横ばいだったが、90%を越えている。女子は令和5年度に比べ、0.1ポイント増加し、90%に達した。

〔「体育の授業は楽しい」の経年変化〕

※平成 20、22、24 年度は、該当する質問項目がない。

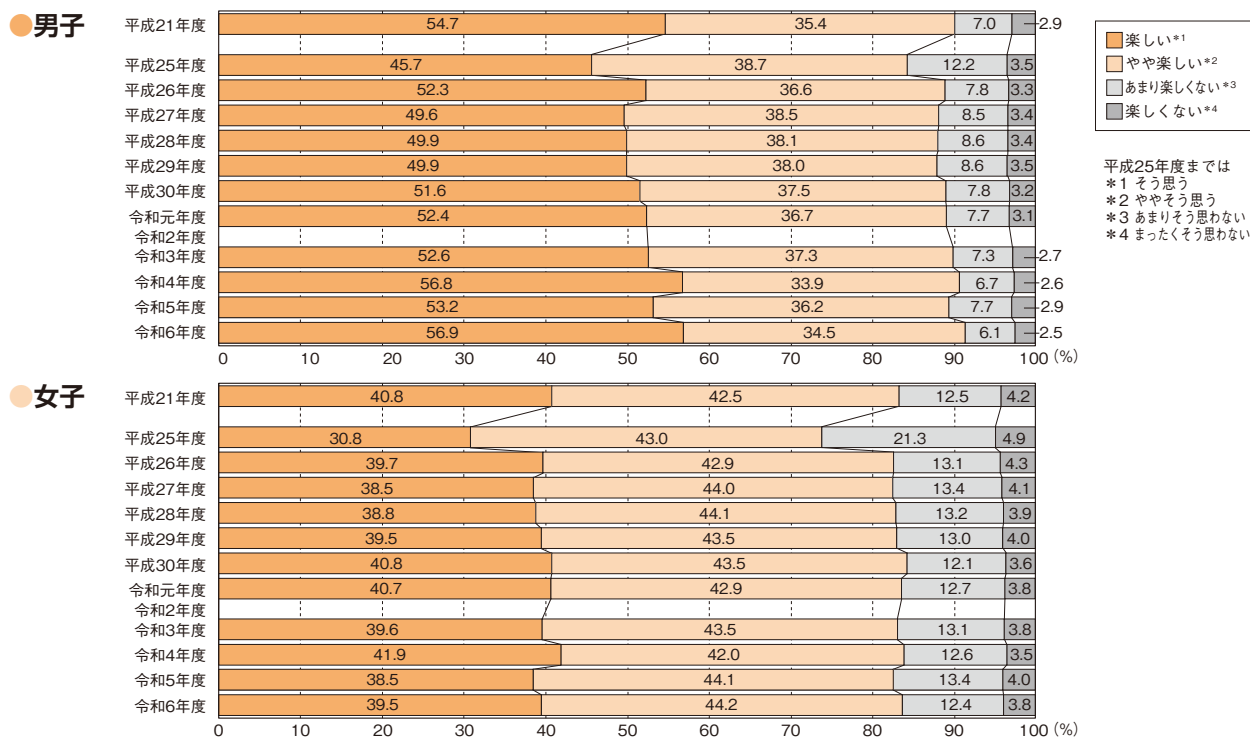


→ 4-2 保健体育の授業は楽しい【中学校】

保健体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と回答した生徒の割合は、男子は令和5年度に比べ、2ポイント増加し、90%を越えた。女子は令和5年度に比べ、1.1ポイント増加した。

〔「保健体育の授業は楽しい」の経年変化〕

※平成 20、22、24 年度は、該当する質問項目がない。



→ 5 生活習慣と体力

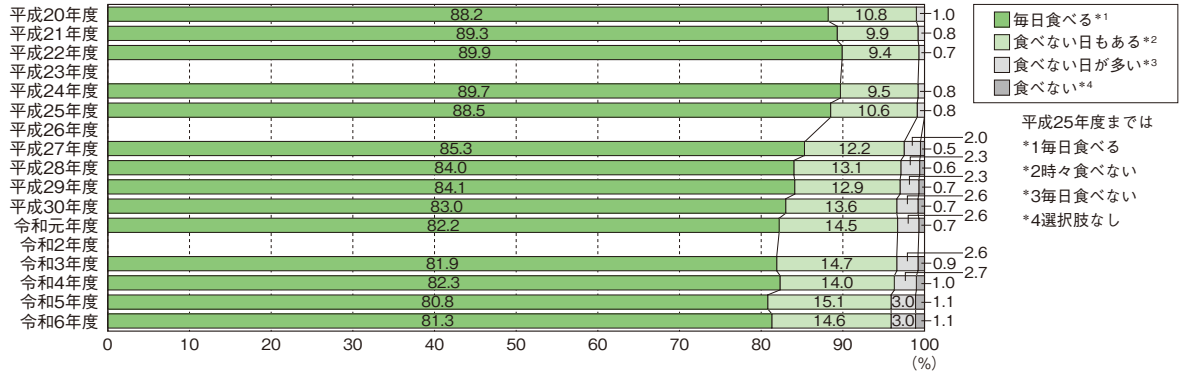
→ 5-1 食事・睡眠と体力との関連【小学校】

規則正しい生活習慣の要素である朝食の摂取状況と1日の睡眠時間の経年変化を見ると、朝食に関しては「毎日食べる」と回答した児童の割合は、令和5年度に比べ、男子は0.5ポイント、女子は0.1ポイント増加した。睡眠時間に関しては8時間以上の児童の割合が、令和5年度に比べ、男女とも1.6ポイント増加している。また、男女ともに、朝食を「毎日食べる」グループが最も体力合計点が高い。睡眠時間との関係においては、女子では「8時間以上9時間未満」グループが最も体力合計点が高く、男子では「9時間以上10時間未満」グループが最も体力合計点が高かった。

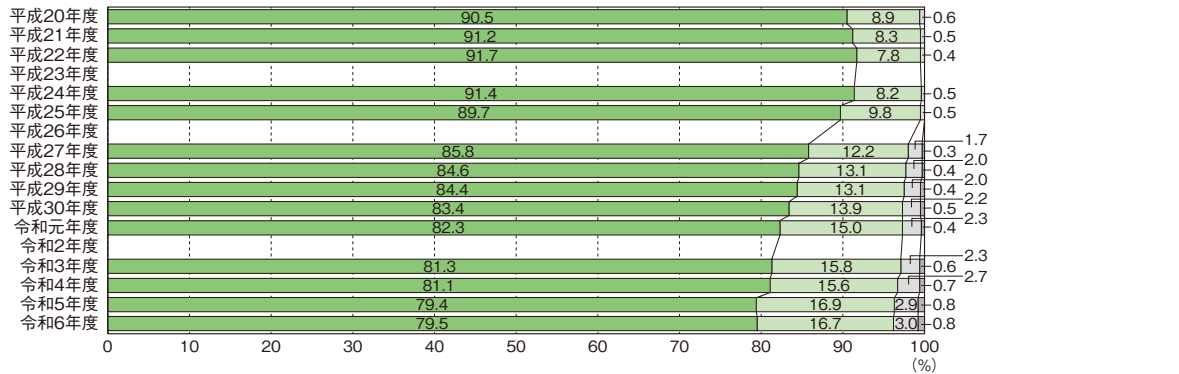
【朝食の摂取状況の経年変化】

※平成26年度は、該当する質問項目がない。

● 男子



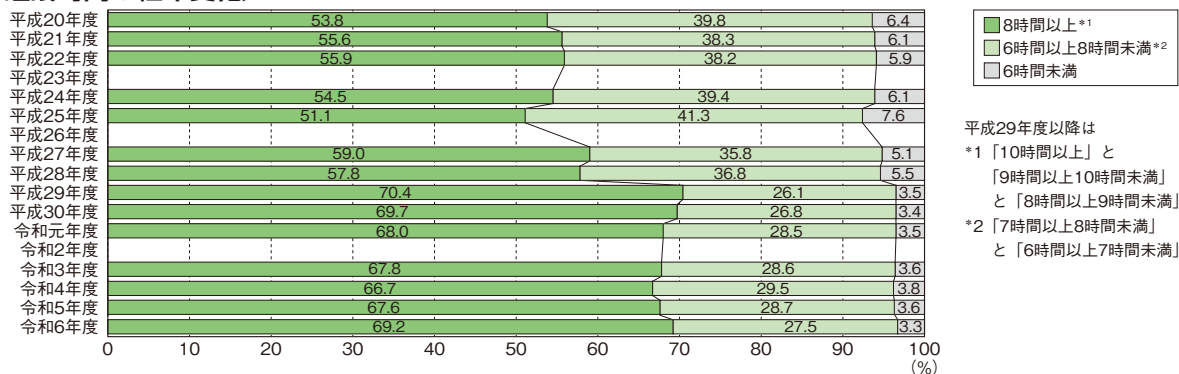
● 女子



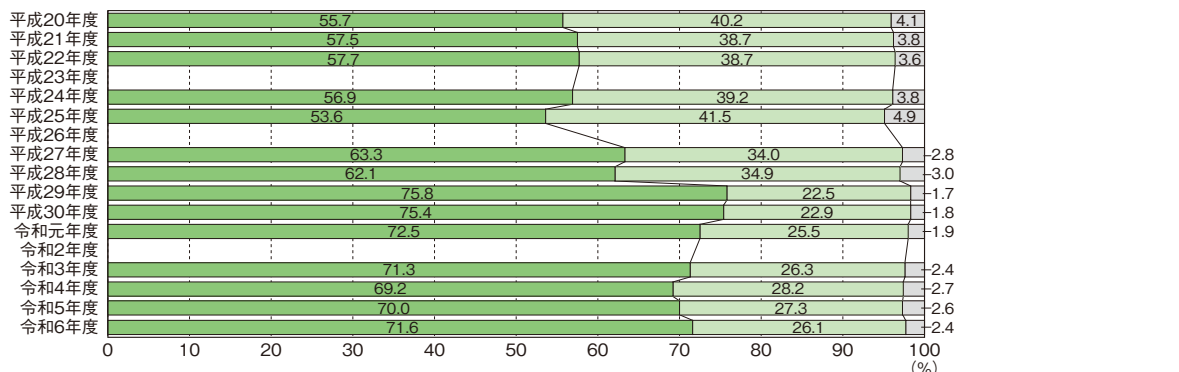
【1日の睡眠時間の経年変化】

※平成26年度は、該当する質問項目がない。

● 男子



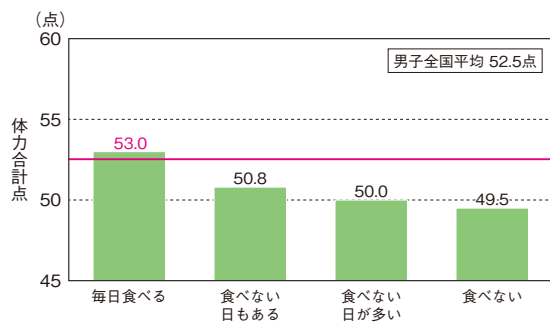
● 女子



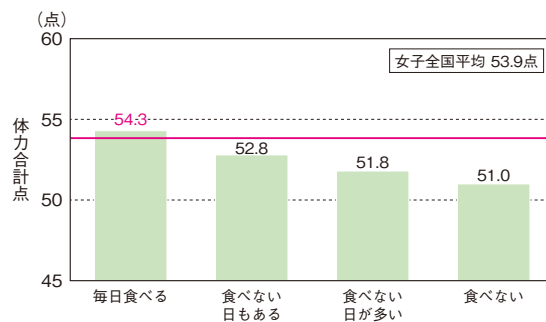
〔朝食・睡眠時間と体力合計点との関連〕

朝食

●男子

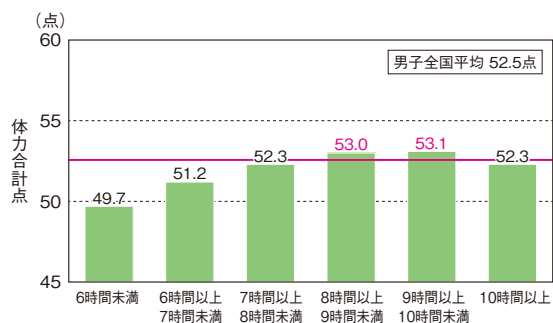


●女子

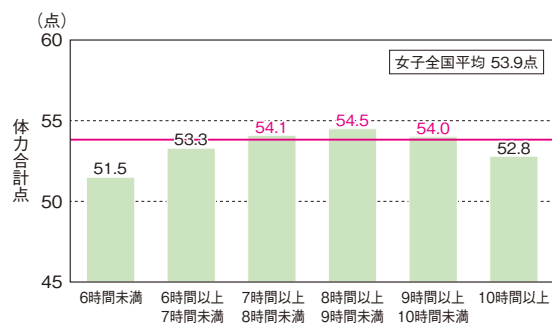


睡眠時間

●男子



●女子



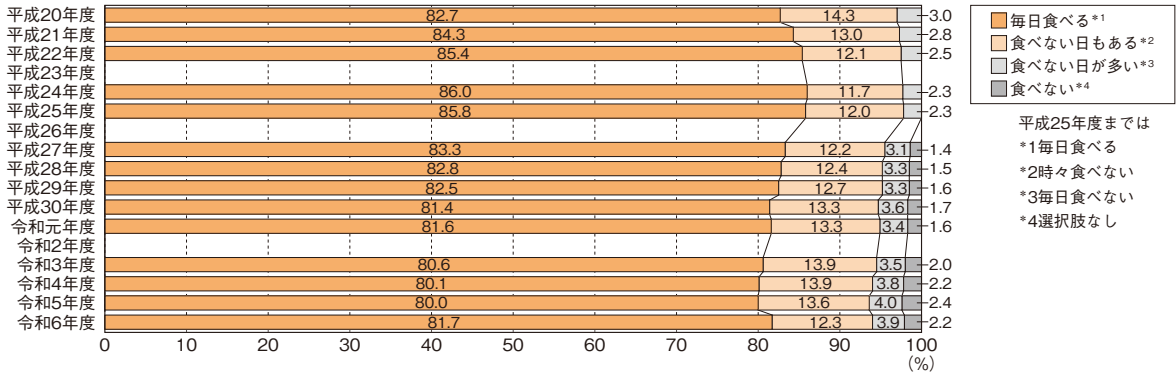
→ 5-2 食事・睡眠と体力との関連【中学校】

規則正しい生活習慣の要素である朝食の摂取状況と1日の睡眠時間の経年変化を見ると、朝食に関しては「毎日食べる」と回答した生徒の割合は令和5年度と比べ、男子は1.7ポイント、女子は1.5ポイント増加した。睡眠時間に関しては、「8時間以上」の生徒の割合は、令和5年度と比べ、男子は6.2ポイント、女子は5.1ポイントの増加となった。また、男女ともに、朝食を「毎日食べる」グループが最も体力合計点が高く、睡眠時間との関係では「7時間以上8時間未満」のグループが最も体力合計点が高かった。

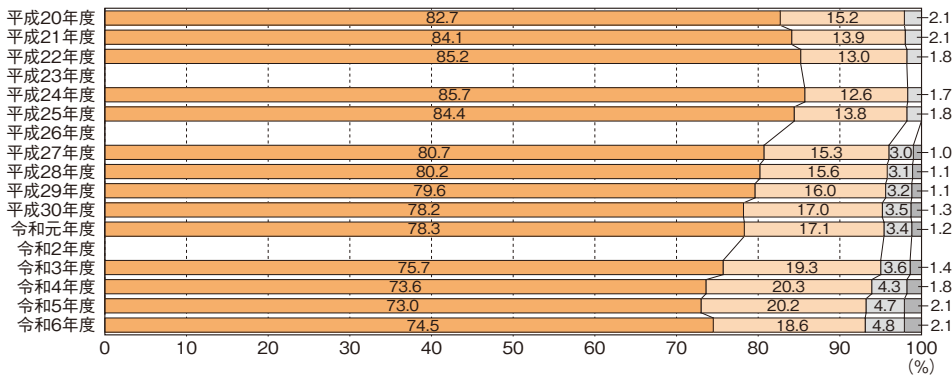
〔朝食の摂取状況の経年変化〕

※平成26年度は、該当する質問項目がない。

● 男子



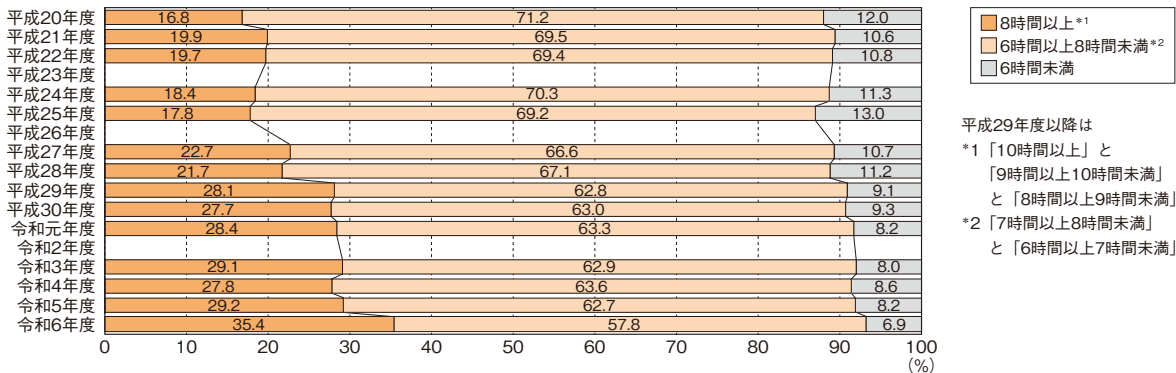
● 女子



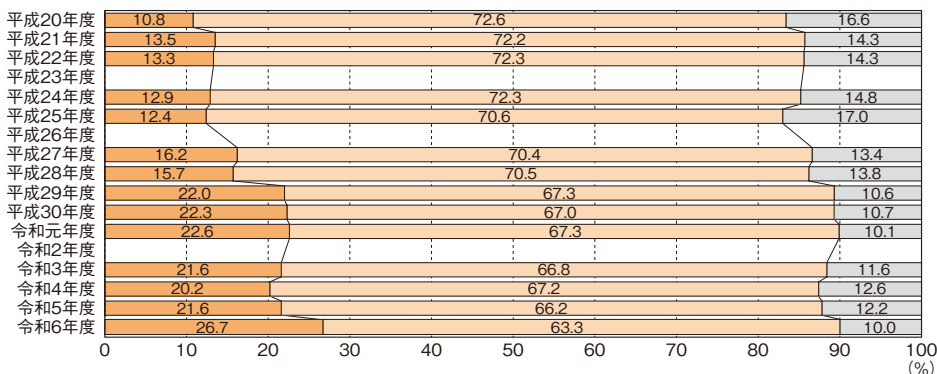
〔1日の睡眠時間の経年変化〕

※平成26年度は、該当する質問項目がない。

● 男子



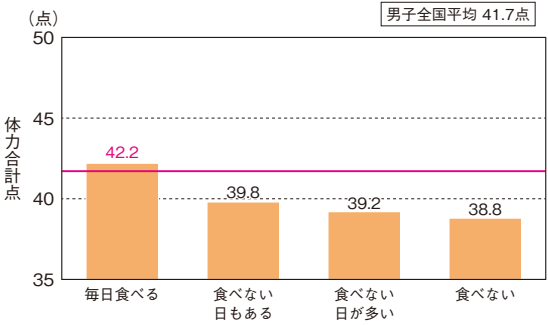
● 女子



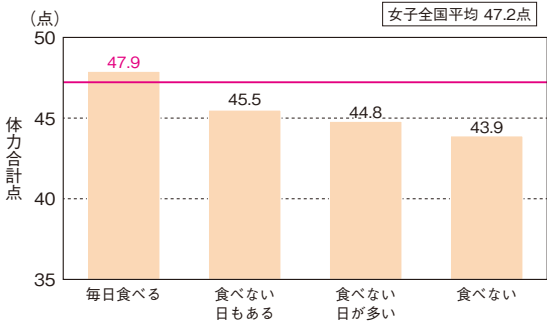
〔朝食・睡眠時間と体力合計点との関連〕

朝食

●男子

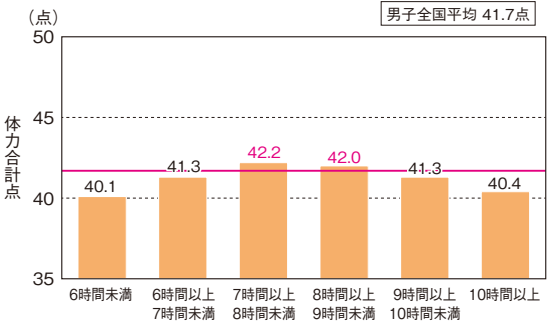


●女子

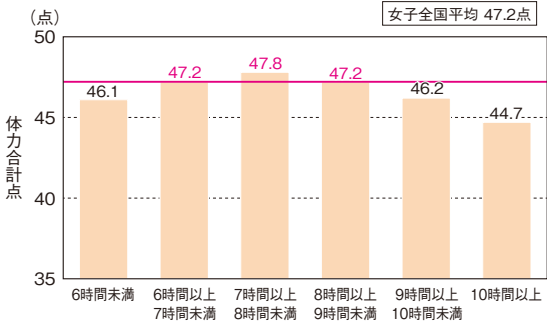


睡眠時間

●男子



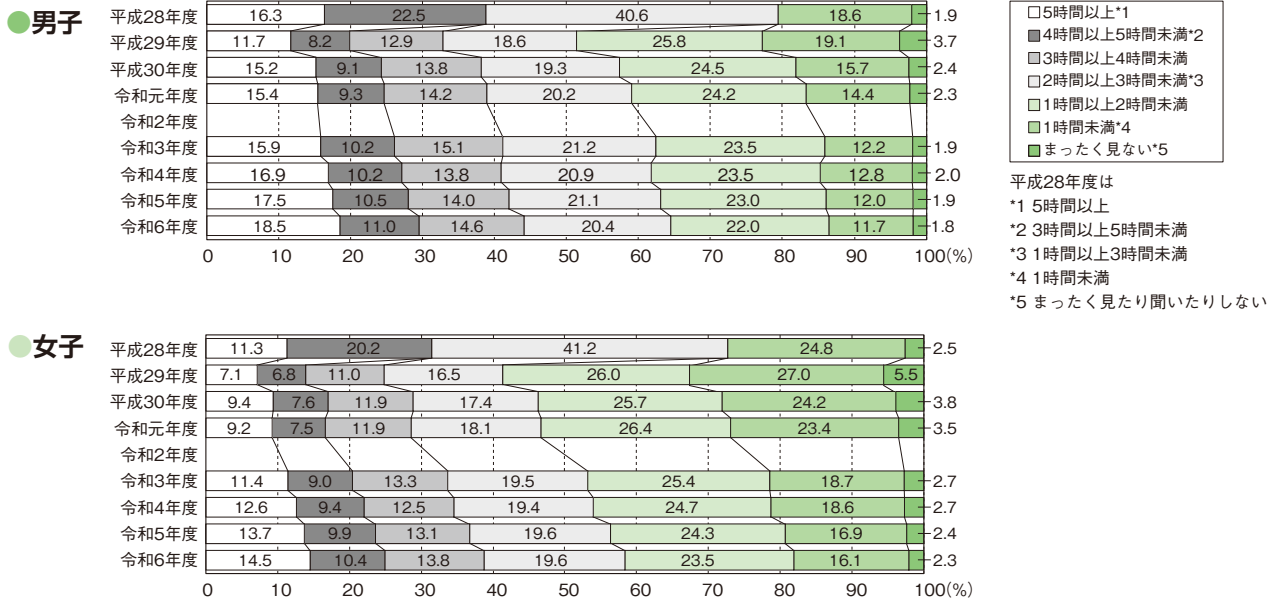
●女子



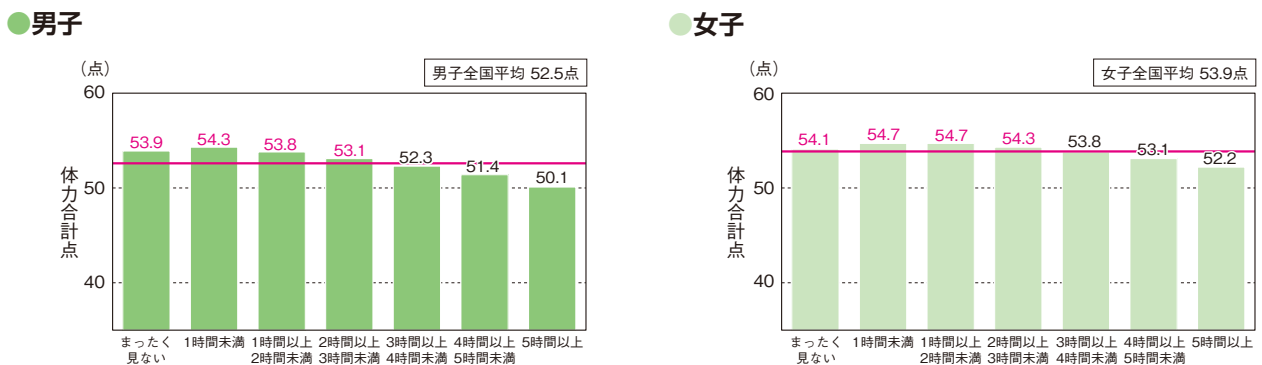
→ 5-3 学習以外でテレビやゲームの画面を見る時間と体力との関連【小学校】

学習以外でテレビ、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面を視聴する時間の経年変化を見ると、視聴時間が3時間以上の割合が令和5年度に比べ、男子は2.1ポイント、女子は2.0ポイント増加した。また、体力合計点を比較してみると、男女とも視聴時間が3時間未満のグループの体力合計点は全国の平均値より高かった。

〔テレビやゲームの画面を見る時間の経年変化〕



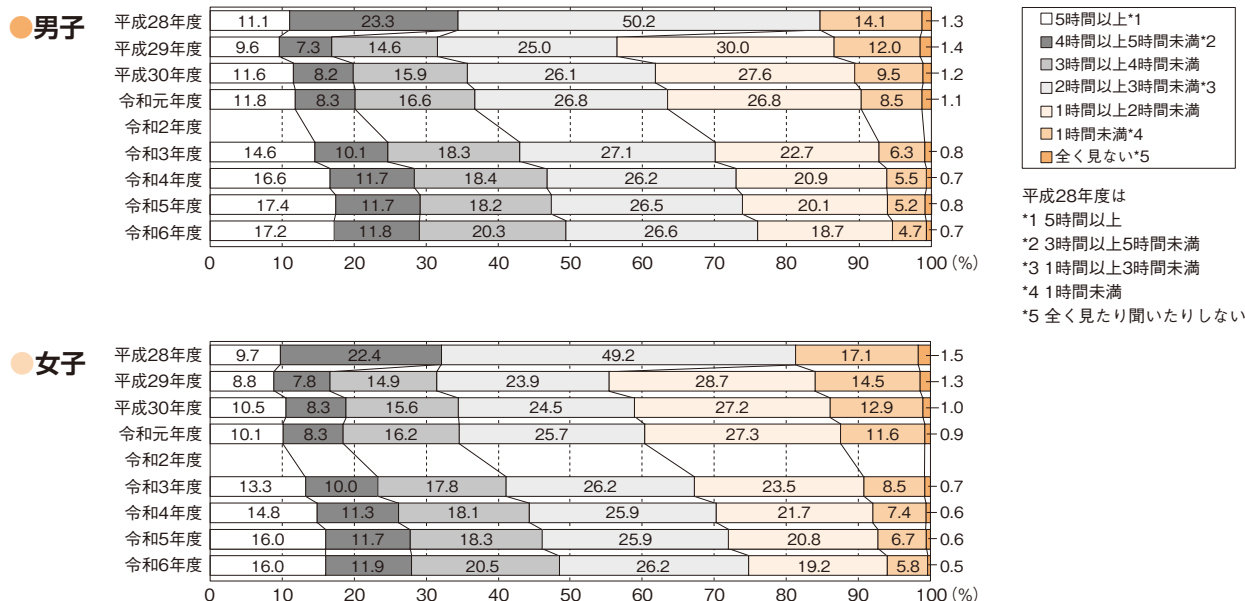
〔テレビやゲームの画面を見る時間と体力合計点との関連〕



→ 5-4 学習以外でテレビやゲームの画面を見る時間と体力との関連【中学校】

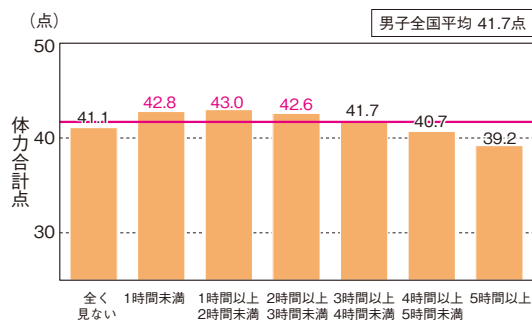
学習以外でテレビ、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面を視聴する時間の経年変化を見ると、令和5年度に比べ、男子では、視聴時間が5時間以上の割合は0.2ポイント減少したが、2時間以上5時間未満の割合が2.3ポイント増加した。女子では、視聴時間が5時間以上の割合は横ばい、2時間以上5時間未満の割合が2.7ポイント増加した。また、体力合計点を比較してみると、男女とも全く見ないを除き、視聴時間が3時間未満のグループの体力合計点は全国の平均値より高かった。

〔テレビやゲームの画面を見る時間の経年変化〕

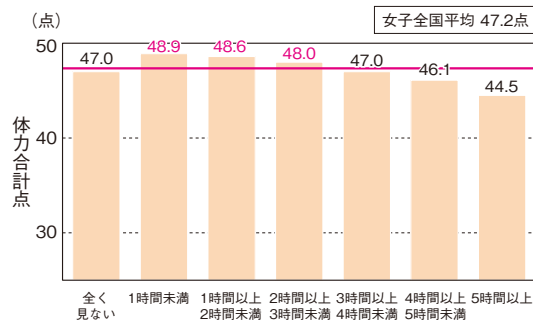


〔テレビやゲームの画面を見る時間と体力合計点との関連〕

●男子



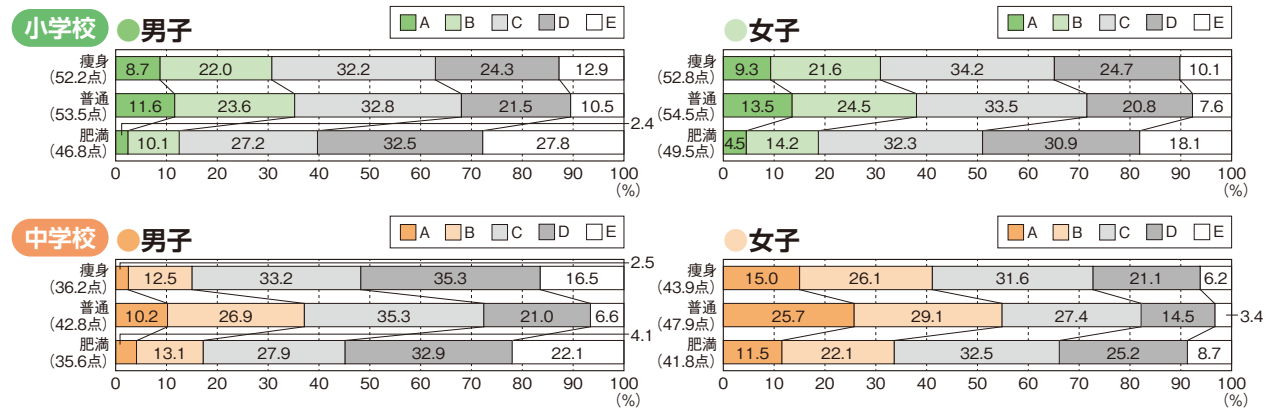
●女子



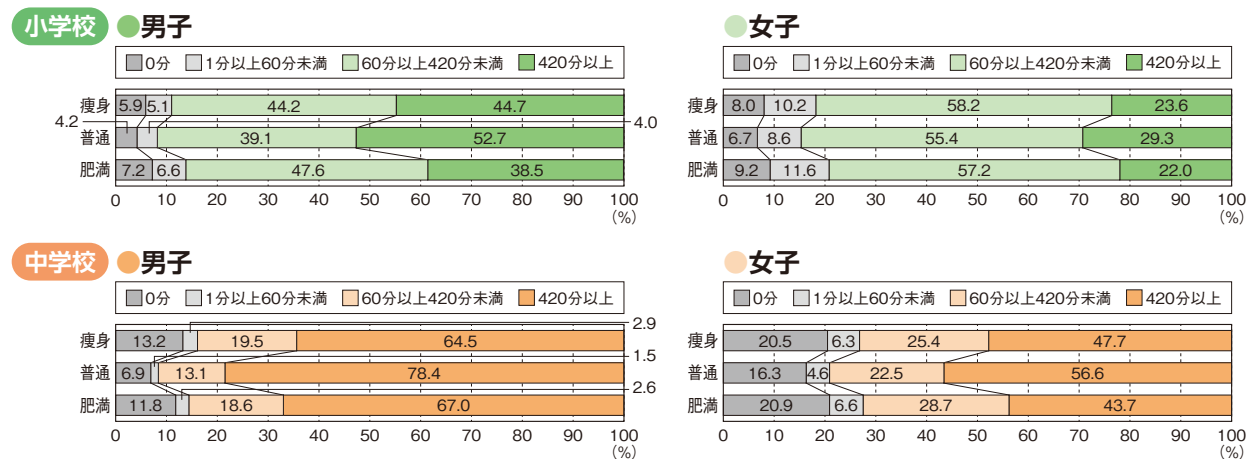
→ 6 体格と体力、運動習慣

体格が肥満の児童生徒は、普通の児童生徒と比べて、総合評価A・B群の割合が小学校の男子は22.7ポイント、女子は19.3ポイント、中学校の男子は19.9ポイント、女子は21.2ポイント低かった。また、小学校の男女、中学校の女子では、体格が肥満の児童生徒は、痩身と普通の児童生徒と比べて、1週間の総運動時間が60分未満（0分を含む）の割合が高かった。肥満傾向児の出現割合は、小中学校男女ともに令和5年度に比べ減少した。

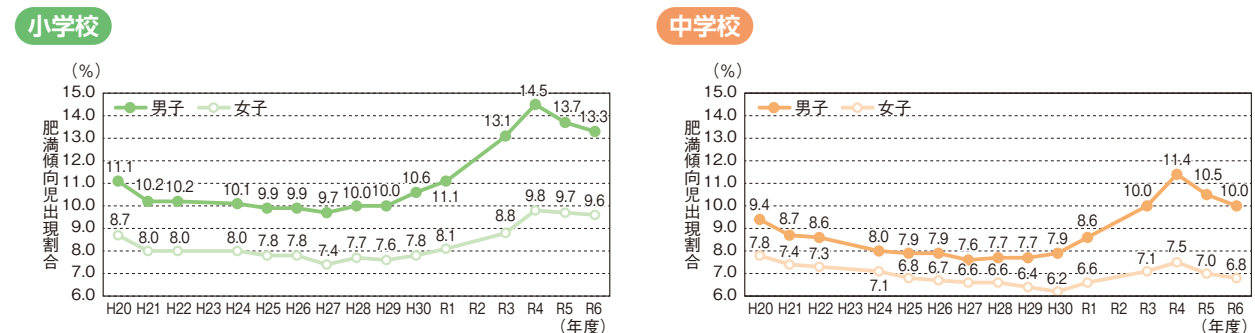
〔肥満・痩身別に見た総合評価の割合〕



〔肥満・痩身別に見た1週間の総運動時間〕



〔肥満傾向児の出現割合の経年変化〕



● 参考資料 〈肥満傾向児・痩身傾向児の出現割合の算出・判定方法〉

「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）」より
平成27年8月25日発行 （財）日本学校保健会

- ・標準体重（kg）＝ a × 身長（cm）－ b
- ・肥満度（％）＝〔自分の体重（kg）－ 標準体重（kg）〕 ÷ 標準体重（kg） × 100

標準体重を求める係数

年 齢	男 子		女 子	
	a	b	a	b
6（小1）	0.461	32.382	0.458	32.079
7（小2）	0.513	38.878	0.508	38.367
8（小3）	0.592	48.804	0.561	45.006
9（小4）	0.687	61.390	0.652	56.992
10（小5）	0.752	70.461	0.730	68.091
11（小6）	0.782	75.106	0.803	78.846
12（中1）	0.783	75.642	0.796	76.934
13（中2）	0.815	81.348	0.655	54.234
14（中3）	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥満度	判 定
50%以上	高度肥満
30 ～ 49.9%	中等度肥満
20 ～ 29.9%	軽度肥満
－19.9 ～ 19.9%	普通
－29.9 ～－20%	やせ
－30%以下	高度やせ

※平成18年度以降、算出・判定方法は変更していない。

Ⅱ 学校に対する調査

(1) 体力合計点の高い学校の取組

体力合計点の平均値が高かった学校（上位10％）における取組の実施率（最も肯定的な回答をした割合）を学校全体の実施率と比較したところ、その差が大きい項目は、小中男女ともに、質問5の「令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた取組をしていますか」であった。

「体力合計点」上位校の取組実施率と学校全体の取組実施率の差

質問内容 ※（ ）内は中学校の質問番号	小学校 全体 実施率 (%)	小学校男子		小学校女子		中学校 全体 実施率 (%)	中学校男子		中学校女子	
		上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)	上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)		上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)	上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)
質問1 令和5年度に、児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか。	83.2	91.2	8.0	91.3	8.1	73.3	83.2	9.9	82.4	9.1
質問2 令和5年度に、児童生徒の体力・運動能力の向上のための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか。	48.0	55.1	7.1	56.4	8.4	53.4	64.5	11.1	64.5	11.1
質問3 令和5年度に、体育／保健体育授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。	80.5	86.8	6.3	86.7	6.2	40.4	46.6	6.2	47.3	6.9
質問3-2 (質問3で1(全ての児童生徒に行った)または2(一部の学年の児童生徒に行った)を回答した学校) その取組はどのくらいの期間行いましたか。	52.1	58.9	6.8	59.4	7.3	63.0	60.9	-2.1	58.9	-4.1
質問3-6 (質問3で1(全ての児童生徒に行った)または2(一部の学年の児童生徒に行った)を回答した学校) その取組には、教師はどのように関わっていますか。	57.1	63.3	6.2	64.4	7.3	23.9	26.6	2.7	23.2	-0.7
質問3-7 (質問3で1(全ての児童生徒に行った)または2(一部の学年の児童生徒に行った)を回答した学校) その取組時間は、前年度と比べて変わっていますか。	23.8	25.3	1.5	23.6	-0.2	19.3	24.6	5.3	24.9	5.6
質問4 教師は児童生徒の体力向上や体育／保健体育の授業研究に関する校内外の研修や研究会に参加し、自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映していますか。	17.1	22.6	5.5	24.2	7.1	20.7	25.9	5.2	24.7	4.0
質問5 令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた取組をしていますか。	55.9	67.6	11.7	68.4	12.5	54.5	67.2	12.7	65.9	11.4
質問6 体育／保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を児童生徒に示す活動を取り入れていますか。	50.3	53.1	2.8	55.9	5.6	70.8	73.4	2.6	71.7	0.9
質問7 体育／保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。	36.6	39.3	2.7	40.5	3.9	56.6	59.9	3.3	56.4	-0.2
質問8 体育／保健体育の授業では、児童生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。	42.3	47.9	5.6	47.6	5.3	51.8	54.1	2.3	53.3	1.5
質問9 体育／保健体育の授業では、児童生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。	65.4	70.8	5.4	72.2	6.8	90.3	95.0	4.7	95.4	5.1
質問10 体育／保健体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。	4.9	4.7	-0.2	4.7	-0.2	15.9	16.6	0.7	17.3	1.4
質問16 健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、児童生徒に伝えていますか。	36.6	41.3	4.7	42.4	5.8	36.5	39.2	2.7	39.6	3.1
質問17 ※小学校のみ 体育／保健体育の授業で教科担任制を導入していますか。	31.3	31.2	-0.1	31.4	0.1	——	——	——	——	——
質問20 ※中学校のみ 保健体育の授業で男女共習を行っていますか。	——	——	——	——	——	66.4	70.1	3.7	72.3	5.9
質問22 (21) 体育／保健体育の授業では、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう共生の視点を踏まえて指導内容の充実を図っていますか。	50.4	56.0	5.6	57.6	7.2	62.2	65.3	3.1	65.2	3.0

(2) 新体力テストの学年別実施状況

小学校の第5学年における新体力テストの実施率は令和5年度が99.0%であったが、本年度は99.1%であった。第5学年以外の学年については、令和5年度が75.8～90.0%であったが本年度は76.7～91.0%であった。中学校の第2学年については、令和5年度が99.2%であったが、本年度は99.3%であった。第2学年以外の学年については、令和5年度が94.8%（第1学年）、95.1%（第3学年）であったが、本年度は95.0%（第1学年）、95.1%（第3学年）であった。

